

社会福祉法人ファミリーユ高知
平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年度 社会福祉法人ファミリーユ高知 事業報告書

評議員会の開催状況

定時

日時：平成 29 年 6 月 22 日（木） 18：30
場所：社会医療法人近森会 近森病院管理棟 3 階 会議室 5・6
議題：1 平成 28 年度事業報告の件
2 平成 28 年度決算報告の件
3 理事・監事選任の件
4 役員報酬基準の件
その他
報告事項
ウエーブ新築工事進捗状況について

臨時

日時：平成 30 年 2 月 14 日（水） 17：45
場所：社会医療法人近森会 近森病院 管理棟 会議室 3
議題：1 理事解任の件
2 理事解任に伴う後任理事の選任の件
3 常務理事創設に伴う定款変更の件
その他

理事会の開催状況

第 1 回

日時：平成 29 年 4 月 25 日（火） PM6：00～PM7：00
場所：社会医療法人近森会 近森病院管理棟 3 階 会議室
議題：1 アルバーテ北本町の解体工事に係る入札の件
2 その他

第 2 回

日時：平成 28 年 5 月 24 日（火） PM6：00～PM7：00
場所：社会医療法人近森会 近森病院管理棟 3 階 会議室 1
議題：監事監査報告
1 平成 27 年度事業報告（案）の件
2 平成 27 年度決算報告（案）の件
3 平成 28 年度補正予算（案）の件
4 障害者福祉サービスセンターウエーブ
クリーニング機器購入の件
5 運営規定改正の件
6 その他

第 3 回

日時：平成 29 年 6 月 22 日（木） 18：30 からの定時評議員会後
場所：社会医療法人近森会 近森病院管理棟 3 階 会議室 5・6
議題：1 理事長選任の件
2 副理事長選任の件
その他

第4回

日時：平成29年9月25日（月） 18：00
場所：社会医療法人近森会 近森病院管理棟3階 会議室6
議題：1 第1次補正予算（案）の件
2 育児・介護休業法改正に伴う就業規則改正の件
3 グループホームポルト事業廃止の件
報告事項
理事長の業務執行状況報告
法人本部：ウェーブ新築工事に係る入札結果
ウェーブ：ウェーブ新築工事の進捗状況報告
ハビリ：県委託事業の受託に係る件
アルベアテ新作業について

第5回

日時：平成29年12月11日（月） 18：00
場所：社会医療法人近森会 近森病院管理棟3階 会議室5.6
議題：1 グループホーム「ポルト」事業休止の件
2 障害者福祉サービスセンターウェーブ名称変更の件
3 障害者福祉サービスセンターウェーブ名称変更に伴う諸規程改正の件
報告事項
法人本部：育児休業等に関する規則改正について
ウェーブ：新事業所工事進捗状況について
ハビリ：若年性認知症就労支援事業進捗状

第6回

日時：決議の省略
場所：決議の省略
議題：1 しごと・生活サポートセンターウェーブ新築移転に伴うスチール家具購入に係る
物品購入委員会設置の件

第7回

日時：平成30年2月14日（水） 17：30
場所：社会医療法人近森会 管理棟3F 会議室3
議題：1 理事解任の件
2 理事欠員に伴う後任理事候補の選任の件
3 常務理事創設に伴う定款変更の件
4 臨時評議員会招集の件

第8回

日時：平成30年3月22日（木） 18：00
場所：近森病院 管理棟3階 会議室3
議題：1 平成30年度事業計画（案）の件
2 平成30年度予算（案）の件
3 平成29年度2次補正予算（案）の件
4 常務理事選任の件
5（仮称）しごと・生活サポートセンターウェーブ管理者呼称変更の件
6 ウェーブ事業所移転に伴う運営規程改正の件
7 就業規則変更の件（有給休暇半日取得の明文化）
8 グループホームポルト廃止の件
報告事項
理事長：業務執行状況報告
法人本部：（仮称）しごと・生活サポートセンターウェーブ
新築移転に伴うスチール家具購入に係る入札結果
ウェーブ：新事業所工事進捗状況、開所に向けてのスケジュール
ハビリ：高知ハビリテーリングセンター開設10年を経過して

平成29年度 障害者福祉サービスセンターウェブ事業報告

施設長 西岡由江

総括

平成29年度のウェブは、新館移転に向けた建築と、移転の準備に追われた一年であったと振り返ります。これは、大きな決断と労力を注ぐこととなりましたが、効率化と組織改革のチャンスと捉え、新たに建築する・新たに企画すること（＝ビルド）と、業務の効率化の見直し・受注仕事の選択と集中（＝スクラップ）を行いました。この「スクラップ・アンド・ビルド」を繰り返すことで変化に対応できる組織力をつけることが出来たと考えます。旧松田病院跡を借りて10年あまり事業を行ってきました。老朽化した建物とはいえ、1階から5階の空いている部屋を自由に使っていただき、様々な種類の委託作業を展開してきたことで、部屋の導線、空間の構造化、視覚支援など沢山のノウハウを見つけることができました。その実績を踏まえ、単に立て替えるだけでなく、変化する利用者のニーズに対し就労支援事業所の在り方（根底）から見直しをする重要な時間となりました。

【スクラップ】

- ① グループホームポルト閉所
- ② 委託作業の見直しによる契約終了（3企業）

【ビルド】

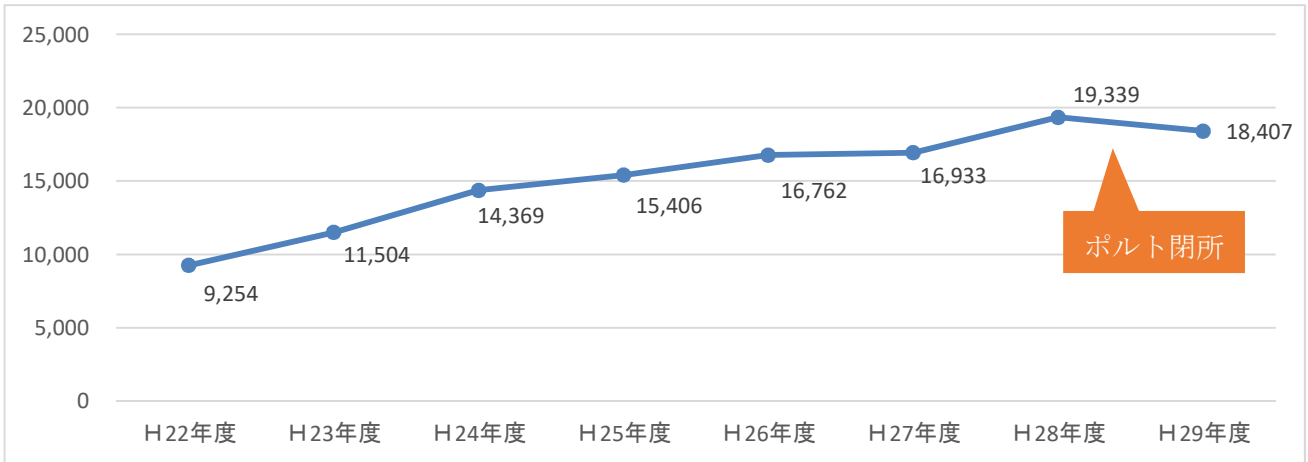
- ① 新館建築着工
- ② 就労継続支援事業A型の立ち上げ
- ③ 新規受注契約と営業活動
- ④ 主任2名配置

以下4事業所の今年度の実績を報告します。

障害者福祉サービスセンターウェブ 就労継続支援B型事業所スウェル

1. 利用状況 延べ利用者数合計の推移

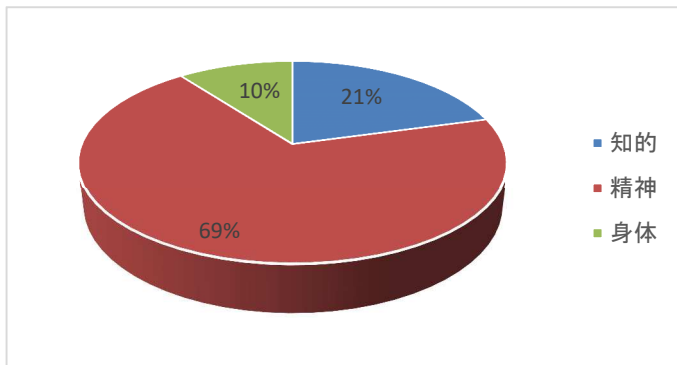
グラフ 1



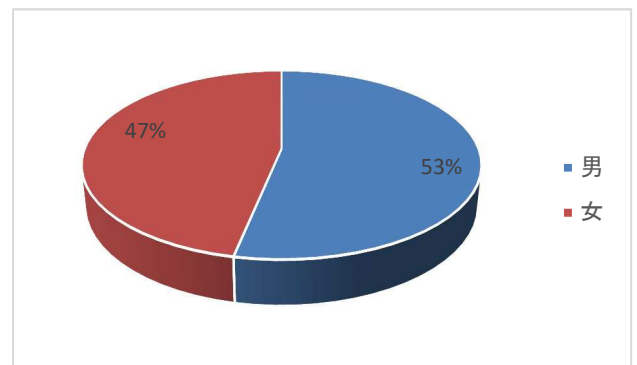
■延べ利用者数は右肩上がりに増加を続けていましたが、今年度は昨年度と比較すると若干減少（-932件）しています。グループホームポルト閉所による利用者減少によるものと考え、登録者の増加にて回復可能であると考えます。

2. 登録者（障害別・男女別）状況

グラフ 2



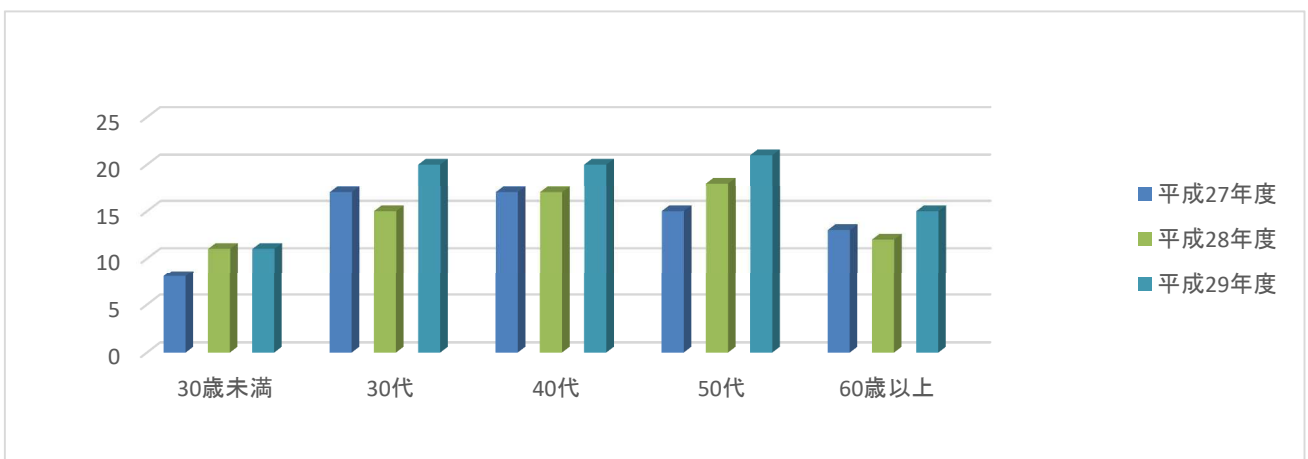
グラフ 3



■精神障害が69%（昨年比-2%）、身体障害10%（昨年比+3%）が変化として見られます。これは、高知ハビリテーリングセンターのアルバーテ閉所に伴い利用していた方が閉所に伴いウェブに移行した為と考えます。男女比に大きな変化はありません。

3. 年齢構成

グラフ 4



■平成28年度に比べ、30代から60代が増加しています。平均年齢も44.8歳と若い利用者が就労の場を求めて来られています。

4. 月別登録者数・利用者数状況

表1

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成29年平均	平成28年平均
登録者	67	68	70	70	68	70	71	71	72	73	76	77	71.1	72.8
延人数	867	918	951	889	906	915	946	936	956	864	869	993	917.5	960.9
一日平均	34.7	34.0	36.6	34.2	33.6	33.9	32.1	36.0	36.7	34.6	36.6	36.8	35.0	36.6

■登録者は、GH閉所に伴い徐々に減少し4月には67名まで下がりました。しかし、利用希望者が途切れることなく3月末には77名と増加し、今年度の登録目標の75名を超えるまでに至りました。一日平均35名(利用定員40名)となっております。今年度から祝日開所を導入し、働きたい方により稼いでいただく時間を提供することで工賃アップとなり、受注いただいている仕事の納期に無理なく納品できることで就労収入アップに繋がりました。

5. 新規入所者の内訳

表2

		性別		障害種別		
		男性	女性	精神	知的	身体
19名 (総数)	30代・未満 10名	8	2	8 統合失調症 発達障害 双極性感情障害 うつ病 人格障害 社会不安障害	2	0
	40代 5名	4	1	2 統合失調症	0	3
	50代 4名	0	4	4 双極性感情障害 摂食障害 統合失調症 うつ病	0	0
	60代 0名	0	0	0	0	0

■19名の新規利用者が入所されています。障害別に見てみますと精神障害が多く14名、次いで身体障害3名、知的障害2名となっています。30代未満の精神障害者が多く、疾患も多様化していることが明らかです。ウェブの特徴ともいえますが、精神障害者が多く、全体的に若く、障害区分認定も軽症者が通所する事業所となっています。

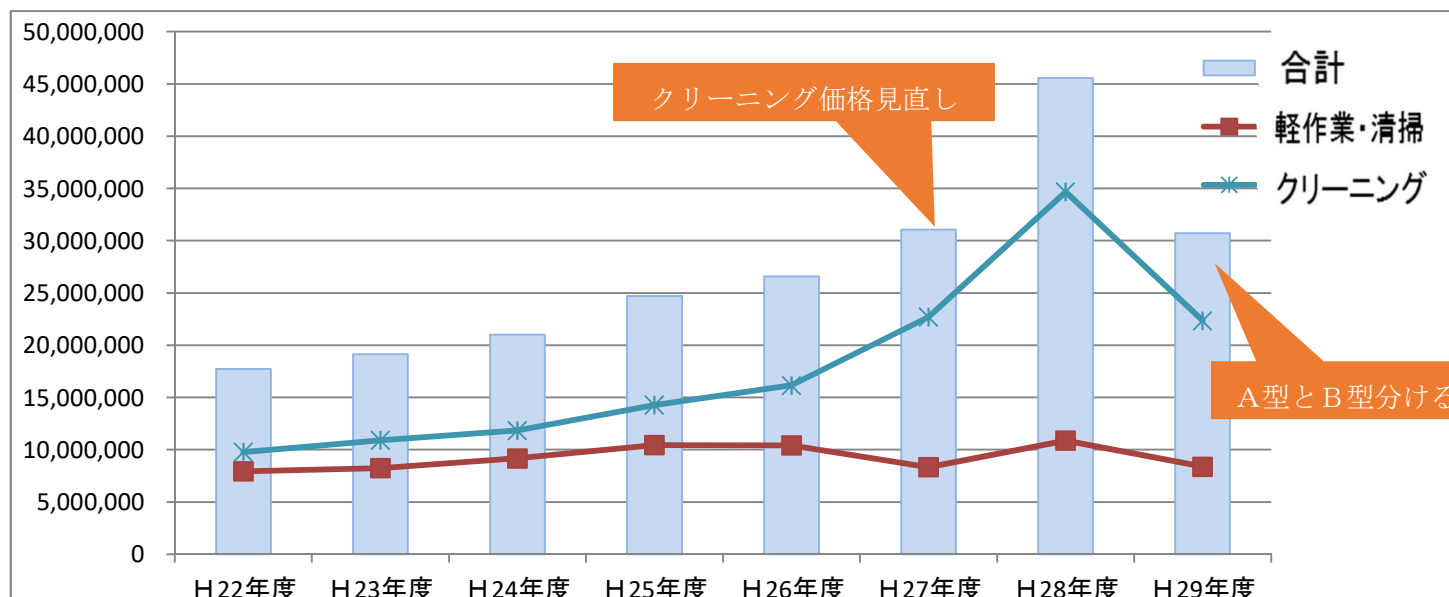
6. 退所者の内訳

表3

11名	1名	一般就労
	4名	他生活環境への転居に伴う
	1名	利用継続が難しいと事業所が判断し、本人、関係機関同意による終了
	2名	入院等にて通所困難(本人希望により)
	2名	他事業所・デイケアなどサービス変更による
	1名	その他(対人関係)

7. 就労収入状況

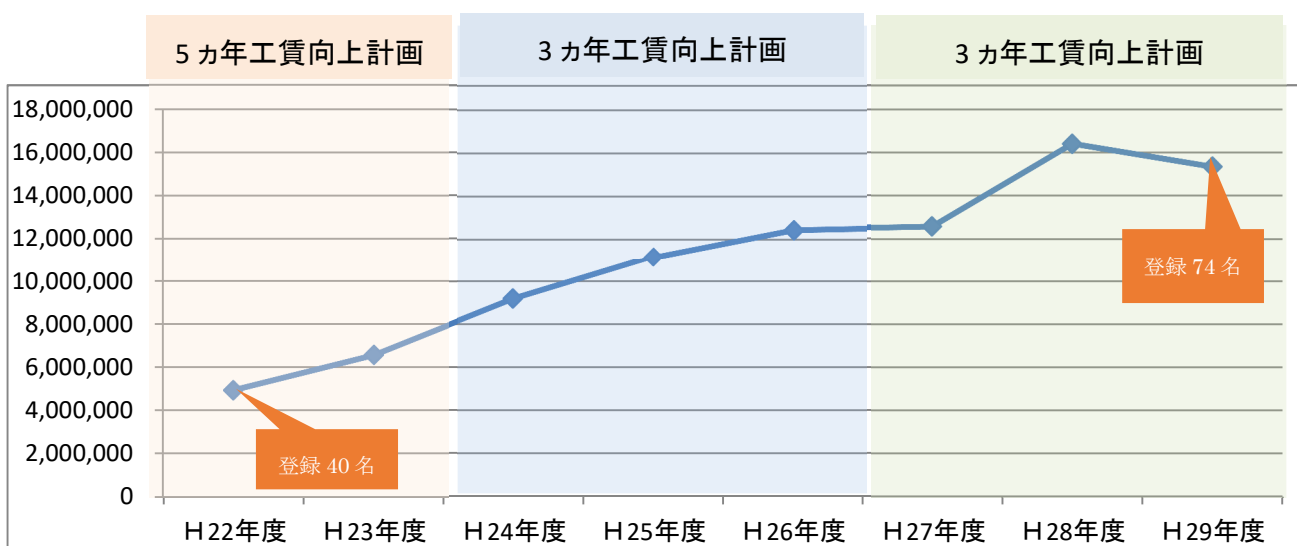
グラフ 5



■全体的に就労収入は伸びています。特にクリーニングの伸びは大きく、平成27年度にはクリーニング価格の見直しを実施し扱う選択物も増加しています。しかし、今年度はクリーニング部門でA型を立ち上げたことにより、仕事の内容を分けたことで減少しています。課題は、軽作業と呼ばれる内職的な作業の見直しです。利用者の仕事量に比べ、1つ仕上げて何十銭という単価でお引き受けしている現状や、環境的な問題（臭い・粉塵問題）に対して何度も議論を重ね、仕事を頂いていた関係会社3社との契約を終了させていただきました。同時に新規委託の仕事も営業に出かけ、新たに2社との委託契約を結ぶことができました。

8. 利用者工賃総支払い額状況

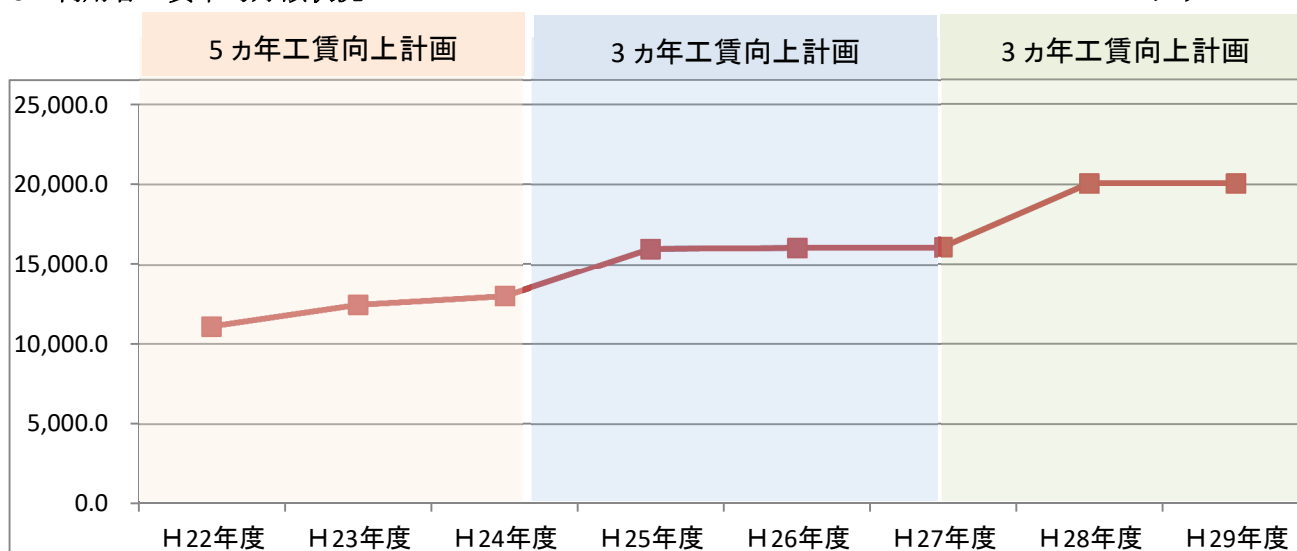
グラフ 6



■利用者に対する工賃総支給額は、年々上がってきています。平成22年度から厚生労働省の障害者総合福祉推進事業の「工賃向上計画」への取り組みを始めました。B型の工賃水準を向上させるため事業所内の意識改革からはじまり、企業への働きかけなど積極的に工賃向上に努めた結果が、利用者工賃を年々上げていけたことに繋がったと考えます。平成22年度は約500万円だった工賃支払いが今年度は1530万円を超える結果となっています。

8. 利用者工賃平均月額状況

グラフ 7



■利用時間や加算対象の仕事（道路清掃・移動販売・クリーニング部門など）により工賃支給額は人それぞれ違っていますが、平均工賃額は徐々に増加しています。平成28年度は2万円台に上りましたが、今年度は高知市道路清掃の入札が通らなかったため収入が下がり、平成29年度工賃実績 19,406 円/月額となっています。工賃だけではなく、個人の目標に合わせてステップアップや一般就労への移行も考慮した支援を行っていますが、元来抱えている環境の変化に弱い特性もあり、新しい仕事に適応するには時間がかかります。支援していく中で、お金だけではなく仕事ができると思っただけのことをまず基本におき、その気持ちが大きく重なり、仕事をしたことが対価として喜んでもらえる仕掛けが求められています。来年度の支援費改定では、平均工賃月額に応じた報酬設定となります。就労を支援すること＝利用者に稼いでいただく（アウトカム評価）が国の方針です。福祉的側面からのアプローチだけでなくダイナミックな経営戦略の視点がより求められ、対応できるスタッフの育成が必要となってきています。

9. 利用者研修実績報告

表 4

日時	研修題名	講師等	研修内容	参加人数
5/17	「趣味」や「楽しみ」を持つこと	ウェーブ支援員	精神障害者フットサル・ソフトバレーボール・バスケットボールの取り組みを中心に学んでもらう	42名
6/26	NEW WAVEをみんなと創ろうプロジェクト	ウェーブ支援員	5グループに分かれて新館建築のイメージを伝え、自由な発想で個人の利用したい夢の事業所について語り合う。	57名
8/8～8/14	暑気払い「カキ氷を食べて暑さを打ち払おう」	ウェーブ支援員	毎日12:00、14:30、16:00にカキ氷を提供	250食
9/3	秋の研修「一致団結」	職員全員	みんなで力を合わせて地引網を引いて取れた魚を美味しくいただく	33名
10/23	職場でのコミュニケーションについて考えよう	ウェーブ支援員	職場での人間関係について。日常生活で起こった困りごと（LINEやメール）についてグループワーク	58名
11月24日	消防訓練「第1回」	職員全員	火災における避難・消火・通報態勢の訓練を実施	53名
12/20	音楽療法 音楽に合わせて心も体もリフレッシュ！	森岡 由紀 先生	季節に合わせた曲を聴きながら、体を動かし心身の活性化を図る	42名
2/2	恵方巻きを作って食べよう	ウェーブ支援員	今年ウェーブでチャレンジしたいことを考えてもらい短冊に書いてもらう	40名
3/10	富永ポンドさんと一緒に 「ポンドアートに挑戦しよう！」	ウェーブ支援員	新館に設置するアート作品を「一致団結」して制作する	27名
3/19	災害・消防訓練「第2回」	ウェーブ支援員	東南海地震発生時における情報集・伝達・津波・火災に対する避難訓練	51名

■利用者研修では、利用者の課題やニーズに沿った企画運営を心がけています。



9. 職員研修実績報告

「資料1参照」

資料1 平成29年度 職員研修実績報告

日時	研修プログラム	委託先等	参加者名
H29.6.9	平成29年度相談支援事業所研修会		根木紀佳
H29.7.27～3日間	就業支援基礎研修	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	中越太一
H29.7.4	普通救命講習	高知市防火管理者協議会	柏井伸夫 佐藤義明
H29.7.5～7.6	平成29年度社会福祉法人 主任/係長講座	全国社会福祉法人経営者協議会	中越太一
H29.7.13～14	全国社会福祉法人経営青年会 基礎講座	全国社会福祉法人経営青年会	西岡由江
H29.7.10	自立支援協議会担当者会	高知県障害保健福祉課	高橋七瀬 根木紀佳
H29.7.18～4日間	平成29年度高知県相談支援従事者初任者研修		中越太一 沼慶子
H29.7.23～24	SSTスキルアップ初級コース	近森病院 総合心療センター	佐藤義明 吉田佐和子
H29.7.25	感情調節困難の理解と支援	近森病院総合心療センター	西岡由江 中越太一 川村健太 高橋七瀬
H29.7.26	疾患理解勉強会・統合失調症	近森病院 総合心療センター	西岡由江 中越太一 沼慶子
H29.8.3～8.5	第1回精神・発達障害者 就労定着支援フォーラム	NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク	西岡由江 中越太一 川村健太
H29.8.24～25	コーチングトレーニング講座	全国社会福祉法人経営青年会	沼慶子
H29.8.25	中堅職員ファーストステップ研修	高知県社会福祉協議会	松坂みぎわ
H29.8.27./9.7	クリーニング師養成講習会	高知県クリーニング生活衛生同業組合	川村健太 佐藤義明 沼慶子 吉田佐和子
H29.9.1	発達障害の就労支援について	高知障害者職業センター	川村健太
H29.9.4	福祉サービス苦情解決セミナー	高知県社会福祉協議会	中越太一 川村健太
H29.9.14～15	第47回中国・四国社会就労センター協議会職員研修会	中国・四国社会就労センター協議会	森脇大輔
H29.9.22～24	第51回日本作業療法学会	一般社団法人日本作業療法士協会	中越太一
H29.9.30	コクヨ梅田ライブオフィス 見学		中越太一・沼慶子・森脇大輔・佐藤義明 根木紀佳・松江珠里・松坂みぎわ 柏井伸夫・吉田佐和子
H29.10.2	就労支援実践研修 精神障害コース	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	中越太一
H29.10.2	就労支援実践研修 精神障害コース	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	根木紀佳
H29.10.4	施設内感染対策研修会	高知市保健所	柏井伸夫 佐藤義明
H29.10.16	自殺危機初期介入スキルワークショップ		高橋七瀬
H29.10.17～4日間	職場適応援助者養成研修	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	中越太一
H29.12.1～3	日本精神科看護専門学術集会	日本精神科看護協会	西岡由江
H29.12.9～10	就労支援フォーラムNIPPON2017	日本財団	森脇大輔 吉田佐和子
H29.12.19	高知刑務所見学会	社会福祉法人高知県社会福祉協議会	川村健太
H30.1.19	高知県テレワーク勤務希望者対象会社説明会	パーソナルチャレンジ(株)	高橋七瀬
H30.1.30	相談支援事業 研修会	高知市障がい福祉課	高橋七瀬 根木紀佳
H30.2.10	第1回近森会グループ学術集会2018 「働き続けるために必要なこと～福祉と医療機関との連携～」 発表者：中越太一	近森会	西岡由江・中越太一・沼慶子 井上あゆみ・佐藤義明・根木紀佳 吉田佐和子・松江珠里
H30.2.14	H1V感染症について ～どう対応すればいい？～	高知市障がい福祉課	高橋七瀬
H30.2.14	法人合同研修「ハラスメントについて」	ファミーユ高知	西岡由江・中越太一 森矢圭吾 佐藤義明・沼慶子・松坂みぎわ・根木紀佳 松江珠里・高橋七瀬・井上あゆみ 森脇大輔・吉田佐和子・川村健太
H30.2.26	平成29年度就労検討会新人職員研修会	高知市障がい福祉課	佐藤義明 森矢圭吾・井上あゆみ
H30.3.6	障害を持つ矯正施設退所者の地域生活支援	高知県社会福祉協議会	中越太一
H30.3.9	平成29年度目指せ！弥太郎商人塾 成果報告会	高知県（土佐MBA）	中越太一
H30.3.9	障害者雇用促進セミナー	高知労働局職業安定部	沼慶子 佐藤義明
H30.3.13～15	2018年度障害福祉サービス報酬改定の詳細解説と 地域共生社会の実現をめざす障害福祉サービスの将来	保健・医療・福祉サービス研究会	西岡由江
H30.3.18	法人合同研修「事例検討会」	ファミーユ高知	西岡由江・中越太一・森矢圭吾・佐藤義明 森脇大輔・川村健太・沼慶子・松坂みぎわ 井上あゆみ・吉田佐和子・高橋七瀬 松江珠里

障害者福祉サービスセンターウェブ 就労継続支援A型事業所オウンプス

■平成29年4月1日よりCHIビル1階にて就労継続支援事業A型「オウンプス」を開所しました。世間では、厚生労働省の方針転換で、補助金を工賃に回すのが厳格に禁止されたことが要因でA型作業所の存続危機が取り沙汰されている中での船出となり、やっていけるのか不安ではありましたが、今までB型でやってきたノウハウや、委託業者をはじめ沢山の方の後押しでなんとか軌道に乗せることができた一年でした。

1. のべ利用者数の推移

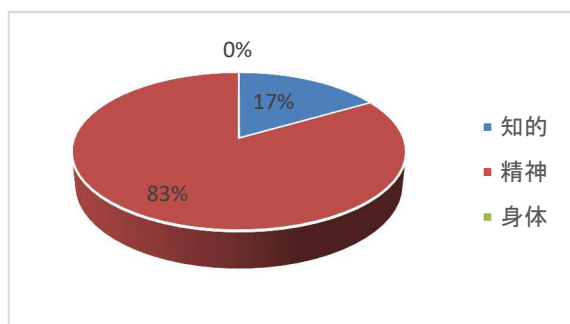
表 1

平成29年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録者	4	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	5.3
延人数	72	73	76	75	77	107	110	112	98	93	98	98	90.8
一日平均利用者	2.9	2.7	2.9	2.9	2.9	4.2	4.2	4.3	3.8	3.7	3.4	4.2	3.5
月合計勤務時間	406.0	424.0	431.0	425.5	438.5	572.2	613.5	641.0	539.4	518.0	489.5	624.0	510.2

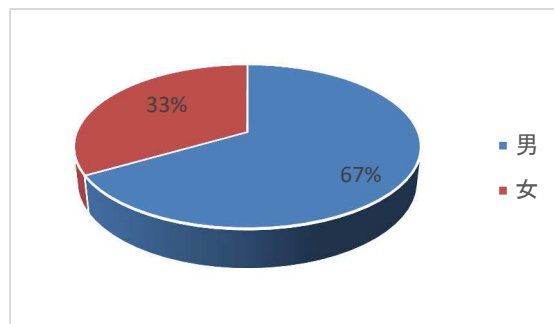
■4月開所当初は、4名の登録（雇用）から開始しました。この4名すべては、当事業所B型スウェルを4年以上利用継続した実績があり、雇用希望が聞かれた方達でした。8月にはさらに2名が、ハローワーク障害者窓口を経由して、集団面接、体験実習を経て雇用となりました。1日平均3.5名が利用し、一人当平均勤務時間5.6時間/日となっています。

2. 登録者（障害別・男女別）状況

グラフ 1



グラフ 2



■障害種別に見てみますと、精神障害が83%（5名）次いで知的障害17%（1名）でした。精神障害と言っても、発達障害（広汎性発達障害・アスペルガー症候群）と統合失調症や双曲感情障害を重複している方が多いのが特徴です。男女比で見ると、男性が67%（4名）女性が33%（2名）と男性が多い職場です。立仕事、納品回収など力仕事という特徴がありますが、機械に任せることは機械に任せ、人の手でしか出来ないことに専念していただき、女性でも働きやすい職場環境を作ること意識しています。

2. 年齢別・利用頻度別割合

表 2

年齢別	
20代	2
30代	2
40代	2

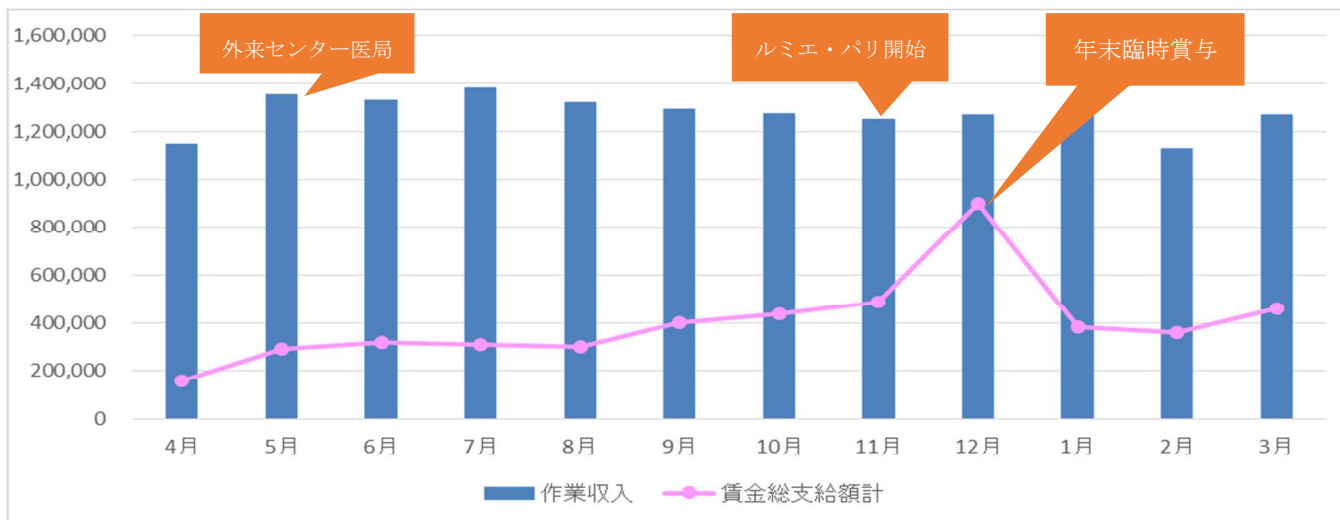
表 3

利用頻度 (1週間の内)	
20時間	3
20時間以上	3

■年齢別・利用頻度別では、20代～40代それぞれ2名で、平均年齢35.8歳となっています。1週間の就労時間も20時間が3名、20時間以上が3名と、仕事と休息のバランスを取りながら、利用者個々に合った仕事の仕方を提案しています。雇用面接の際にオウンパスは最後の就労場所ではなく、次へのステップアップする場所である話をさせていただいています。自分の特徴を知り、自分にあった働き方を支援者と共に模索しながら次へのステップを意識して働いてもらっています。障害を持たれた方々が、自分らしく、長く働き続けるには、ご自身の特徴や病状の波を把握することであると考え、精神・発達障害者に効果的な就労定着支援システム「SPIS=Supporting People Improve Stability」養成講座に参加し、ウェブ版に変化させた「オウンパス」を導入しています。精神・発達障害のある従業員と雇用担当者を結ぶ連携プラットフォームで、当事者のセルフコントロール力と職場の当事者サポート力を向上させ、相互に働きかけることができ職場定着に役に立つことを目的にはじめています。試行錯誤な支援ではありますが、利用者の希望に寄り添えるウェブを目指しています。

4. 作業収入と賃金総支給額

グラフ 4



■作業収入は月平均1,270,000円で、雇用スタッフの一人当平均支給額は66,585円/月でした。高知県の最低賃金=715円/時間を保証し開始しましたが、10月には最低賃金の見直しがあり737円/時間に昇給しています。作業収入のほとんどは、近森病院のスタッフユニフォーム洗濯です。本館スタッフのクリーニングからスタートしたのですが、5月には外来センター医局のユニフォームも預かることになり収入アップしています。近森会に頼るクリーニングでは就労収入は上がらないため、主任や目標工賃達成指導員達で営業戦略を練り、高知市内の病院に足を運びましたが、なかなか病院スタッフのユニフォーム洗濯の委託を頂くことは出来ませんでした。しかし、地道な営業活動で、株式会社ルミエ・パリよりエステ着やバスローブの洗濯依頼を11月から受けることができるようになりました。就労収入の安定

と、高い品質を確保できたのも雇用スタッフ6名のお陰と評価し、12月にはボーナス（1か月分の給料分）を支給することができ、利用者の喜ぶ顔を見ることができました。収益バランスからみて雇用人数を増やす目処がついており、新年度早々に雇用を予定することとしています。

5. サービス管理責任者（沼）のコメント

オウパスが開所して一年。利用者は4名から6名に増員。「A型」という初めての事業でB型との違いを模索しながらの一年で、利用者に過度に負担や期待を掛けてしまったこともあったり、休職する利用者もあり、施設長や支援員とも話をしながら医療や他機関とも連携しながら何とか支援を行ってきた。利用者の声を聴くためのスタッフミーティング、利用者の状況を知るため、利用者自信が自分を知るためのオウパス、皆が一緒に働く仲間としての不安や不満などを言い合う飲み会（OFFJT）などの活動を設けてきた。そうした小さな活動一つ一つが実り、退職者ゼロで一年間継続することができたのだと思う。また利用者自身の成長も著しく、自分で稼ぐことで生活が変わり、周りが変わり、自分が変わった一年になったように思う。就労収入については11月から新たにルミエ・パリが追加となり、安定した収入を得、年末に賞与を支払うことができた。

今後はトンネルフィニッシャーの導入で生産性と効率性がアップすると思われるため、方々営業を行い就労収入増を目指し、定員を2名程度増員していけるよう環境を整えていきたい。また、教育では企業見学や実習、講演などを積極的に取り入れ、一般就労へのステップアップを目指したい。また、クリーニング師の免許を職員利用者ともに取得を目指し、新日星商事や新高知基準寝具にも協力を得て専門的な知識と技術力のアップも行っていきたい。余暇をどう過ごすのか、一緒に考える時間を利用者と持ちながら楽しめる企画も考えていきたい。

平成29年度 障害者福祉サービスセンターウェーブ グループホーム「ポルト」

■グループホームポルトは、ウェーブ移転に伴い一年かけて休所に向けて取り組みました。十分な説明を個別に行い、入居者の次の生活空間探しを丁寧に行いました。病状悪化や生活困難な状況に至らないよう配慮し、残り少ない時間ではありますが、ポルトで生活してよかったと思っただけのよう、世話人と共に最後まで支援をさせていただきました。8月という比較的早い段階ですべての入居者の転居が決まり、世話人さんとも契約を解除させていただきました無事に閉所することができました。

1. 月別利用状況

表1

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者	9	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
男性	5	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
女性	4	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 転居先

表2

転居先	女性	男性
アパート	1	3
他GH	2	1
高齢者施設	0	1
入院	1	0

■それぞれの転居先を表で表しています。休所をきっかけに単身でアパート生活を始めた方が4名、他のグループホームに移行された方が3名、高齢者施設が1名、病状悪化ではなく、アルコール飲酒の実態が明らかになり治療目的にて入院された方が1名でした。どなたからも、病状悪化や不適應を起こしているとの連絡なく、次の住処で活躍されているときいております。

3. 指定障害福祉サービス事業届出【共同生活援助】

平成30年2月1日～平成30年5月31日・・・グループホーム「ポルト」休止

平成30年5月25日・・・グループホーム「ポルト」廃止

4. サービス管理責任者（沼）のコメント

『家にいるような安心感』を感じてもらえるよう、施設長を始め、世話人とサビ管で協力して支援を行ってきた。就労を生活が一つの建物内にある利点としては退院時から生活と就労が両方見て、支援できることであるが、利用者の生活が安定し、自立を考える時期になると、一つの建物内にあることが逆に自立を抑制し、生活と仕事のバランスが崩れてしまう事態になることも少なくなかった。新館移転にともない、ポルトの終了は本当に申し訳なく、残念ではあるが、今度GHを建築するのであれば家のように落ち着いた場所にポルトでの経験を活かした素敵なGHを建てたいという私自身の新たな目標ともなった。多くの利用者を地域に送り出したポルトは確実にその役割をやりとげたように私は思う。

障害者福祉サービスセンターウェブ相談支援事業所

平成29年度における障害者福祉サービスセンターウェブ相談支援事業所は、特定相談支援事業所として2名の相談支援専門員（うち1名は就労継続支援事業B型の支援と兼務）が事業の実施に当たりました。法人内外ともに、サービス等利用計画書作成及びモニタリングに力点を置いた活動を行いました。そのほか、いの町委託相談支援事業を例年どおり実施し、地域課題に対応するため、自立支援協議会等への参加を行いました。

1. 相談実績

グラフ1



■新規契約者14名、契約終了者18名で契約者数はほぼ変化がなく横ばいです。グループホーム閉所や、就労支援事業所変更などにより計画書作成件数が増えています。モニタリング件数はほぼ昨年と同数で推移しています。障害者の希望や実際チャレンジしてみた結果事業所を変更する方や、ヘルパー導入やショートステイ等の新たなサービス利用につなげる方などが多く、計画書の変更等書類作成に追われる毎日でした。担当者会やモニタリングの抜かりが起らないよう、事務担当職員を入れた3名で、2回/月相談支援進捗状況（類作成や署名・提出状況等）を確認する会を設けています。契約終了理由は、福祉サービス利用終了、高齢者施設入所、県外転居、相談支援事業所変更、入院の長期化があげられます。

2. 市町村別担当者数

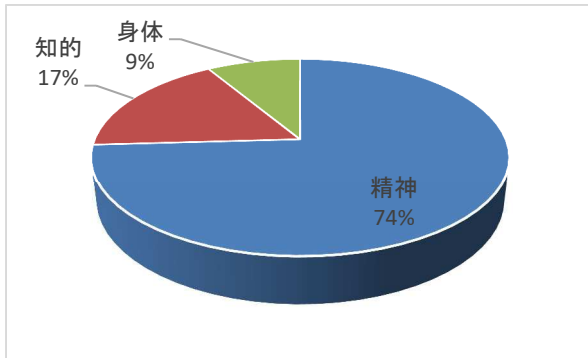
表1

高知市	南国市	香南市	須崎市	四万十市	土佐町	いの町	仁淀川町	佐川町	宮崎市	合計
95	1	2	1	1	1	32	1	4	1	139

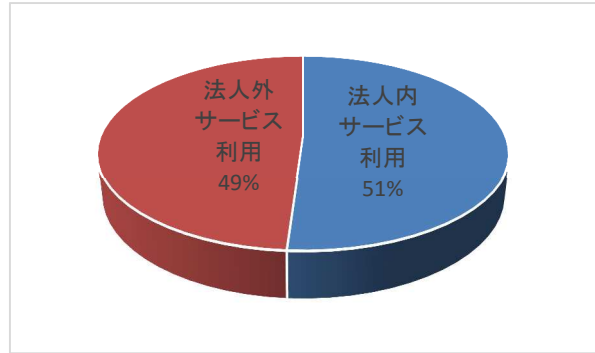
■事業所管轄域である高知市が95名と全体の68%を占めています。次いで業務委託しているいの町が32名（23%）となっています。少数ではありますが、県外・郡部等も関わっております。

3. 障害及び所属別

グラフ 2



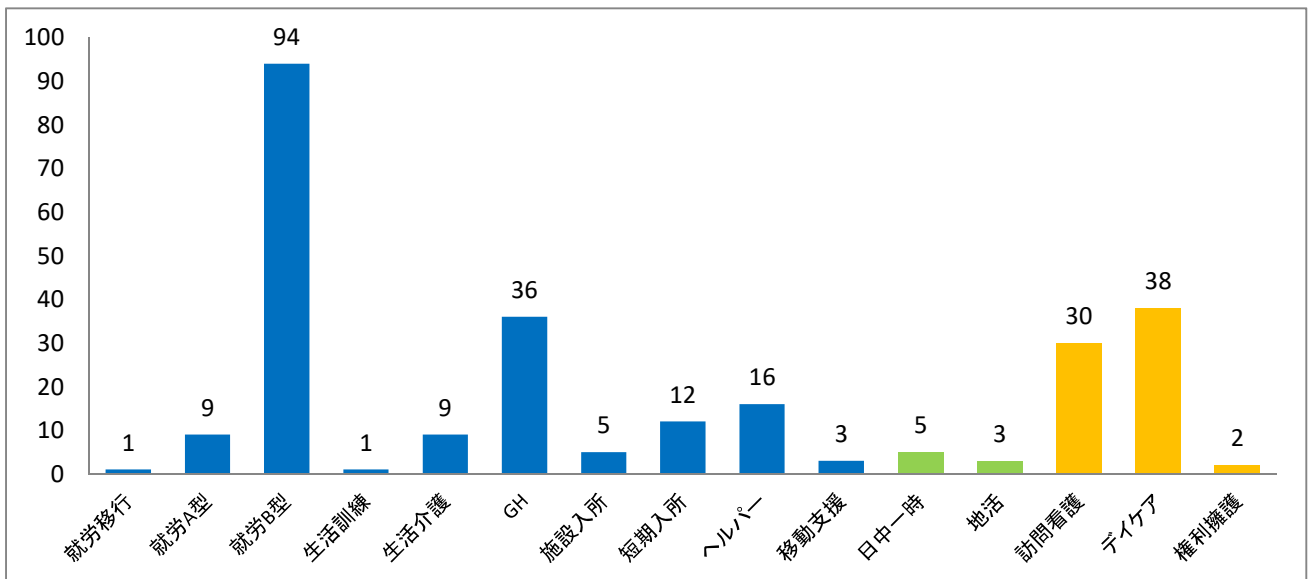
グラフ 3



■障害別に見ますと、担当する障害は精神障害者が多く、次いで知的障害となっています。疾病と障害を併せ持つ精神障害者の相談支援は、病状不安定時など診察同伴を含め家族調整など多岐にわたってのかかわりが必要となってきます。相談支援専門員一人が抱える案件には限度があり、またチームでかかわることができないことから、スタッフが疲弊し障害者を捉える方向が一方向になりやすいため、今年度から主任を配置し、業務改善や相談窓口を配置しました。法人内外の所属別で見ても、法人外が49%を占めており、外部との連絡調整・外出頻度も多く業務整理が必要となっていたため、定期的な相談支援会議を持つこととし、管理者（主任含）と共に現状について議論する時間を設けました。

4. 利用サービス別

グラフ 4



■利用サービス別では、就労継続支援B型が最も多く、次いで共同生活支援のグループホームとなっています。就労だけの支援ではなく、生活支援なくして就労支援は成り立たないよう一人ひとりに必要な支援を検討し、サービスにつなげていくことを大切に支援しました。

5. 職員研修

高知ハビリテリングセンターの相談支援部と合同企画し、毎月1回事例検討会を実施しました。スーパーバーザーとして西森柳子先生に入ってください、一人ひとり自分のかかわっている事例を出し合って支援の質を高める研修を行いました。

平成 29 年度 高知ハビリテーリングセンター事業報告

総評

平成 29 年 3 月 31 日に B 型サテライトの『アルベータ』閉所に伴い、春野の軽作業室の環境整備を行い、生活介護ご利用者には新たな部屋を確保してのスタートとなりました。そして、平成 29 年度は、朝 9 時からご利用者と職員がともにラジオ体操を行うことで一日の始まりとしたことや昼食のセルフ化で、訓練や生産活動のタイムスケジュールに変更は生じましたが、社会復帰訓練施設としては他県にも例のない良き取り組みだと思っています。

また、表 1 に示しますように、平成 26 年度から 4 年目となる 29 年度におきましても全事業が好成績で終わることができました。継続している週に一度の広報活動の際に、訓練目標にある地域生活や就労への実績を報告できることや、高知県下に高次脳機能障害支援拠点としての地域研修会で地域に伺うことで地域スタッフとの顔の見える関係性の構築等、日常の職員一人ひとりの力がチーム力を上げ、その結果が出ているものと実感します。

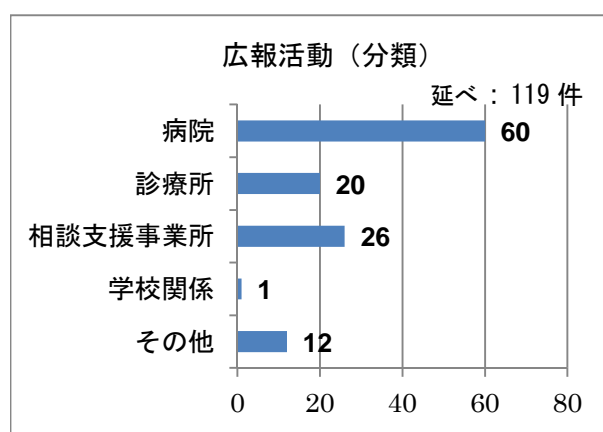
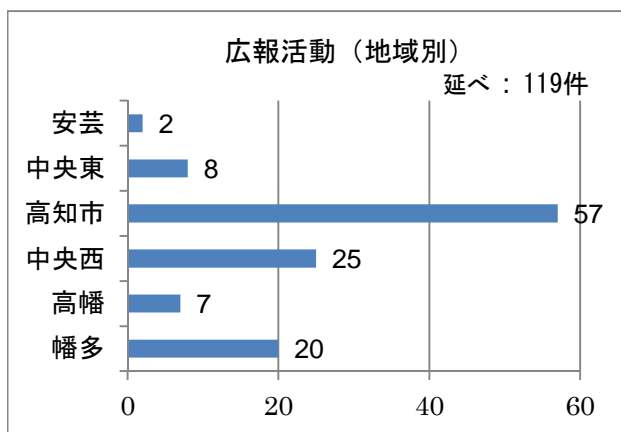
開設からこれまでの 10 年を振り返りますと、県からの移管と同時に建物の解体をしつつ建設完成までの約 2 年半、県時代からのご利用者との信頼関係づくりにと全職員が気持ちを一つに臨んでいた日々を思い出します。県職員から私たちに入れ替わり、新制度に変わっていくことや個室になることへの不安を抱いていたご利用者の心情を一番に受け止め、訓練や作業のみならずイベントには更に力を入れてきました。ご利用者、職員ともに笑顔の写真がたくさん残されており、初心忘るべからずで身が引き締まる想いです。

事業を拡大し、利用者、職員数ともに増えました。平成 30 年度におきましても、通過型の施設としての使命を果たすことはもちろん、ご利用者を第一に考え、ご利用者の自己実現の為に職員一同臨んでいきます。

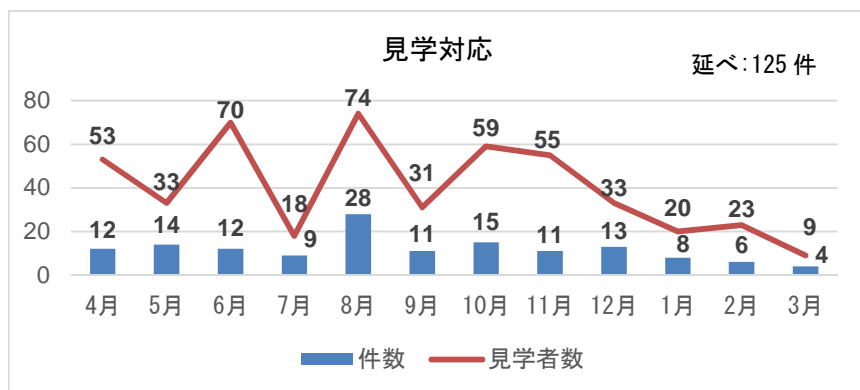
■ 広報活動

グラフ 1

グラフ 2



グラフ 3



	事業名	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日中	機能訓練	25	27	26	27	29	30	29	29	30	29	27	28	28
	生活訓練	9	10	10	9	11	12	12	11	11	11	10	11	12
	生活介護	6	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	13	14
	就労移行	10	15	16	16	16	15	16	14	18	11	12	13	12
	B型	50	94	94	96	94	93	91	93	94	95	94	94	96
夜間	施設入所	40	40	39	40	40	41	39	40	40	40	39	40	39
	ハビリホーム	36	36	36	35	35	35	36	36	36	36	36	36	36
	キュール	10	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89

■地域貢献・地域に開かれた施設づくり

平成 29 年度の「地域交流委員会」は、4 回開催しました。新たな取り組みとしては、春野町開催の『すこやか春野交流会』には当センターの地域交流委員会職員が実行委員として参加し、当日の参加者送迎等を行うことになりました。また、春野高校生活クリエイト系クラスの生徒たちと B 型パン工房科でパン作りをし、マスコミに取り上げられる等、売れ行きも完売となり高評でした。

地域交流委員会 委員名簿

表 2

	氏 名	所 属	役職
1	前田 和彦	春野地区民生委員児童委員協議会	会長
2	久保 協子	春野町連合婦人会	会長
3	市川 素子	医療法人永島会 永井病院	理事長
4	長崎 敬治	特別養護老人ホームはるの若菜荘	施設長
5	杉村 知之	高知市立春野東小学校	校長
6	窪田 育弘	高知市立春野中学校	校長
7	下司 眞由美	高知県立春野高等学校	校長
8	川村 康夫	高知県立若草特別支援学校	校長
9	植野 弘子	うららか保育園	園長
10	今村 文哉	春野地区社会福祉協議会地域協働課	

平成 29 年度 障害者支援施設高知ハビリテーリングセンター
自立(機能・生活)訓練事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-29 年度)

<機能訓練(身体 1.5 年)>

グラフ 1

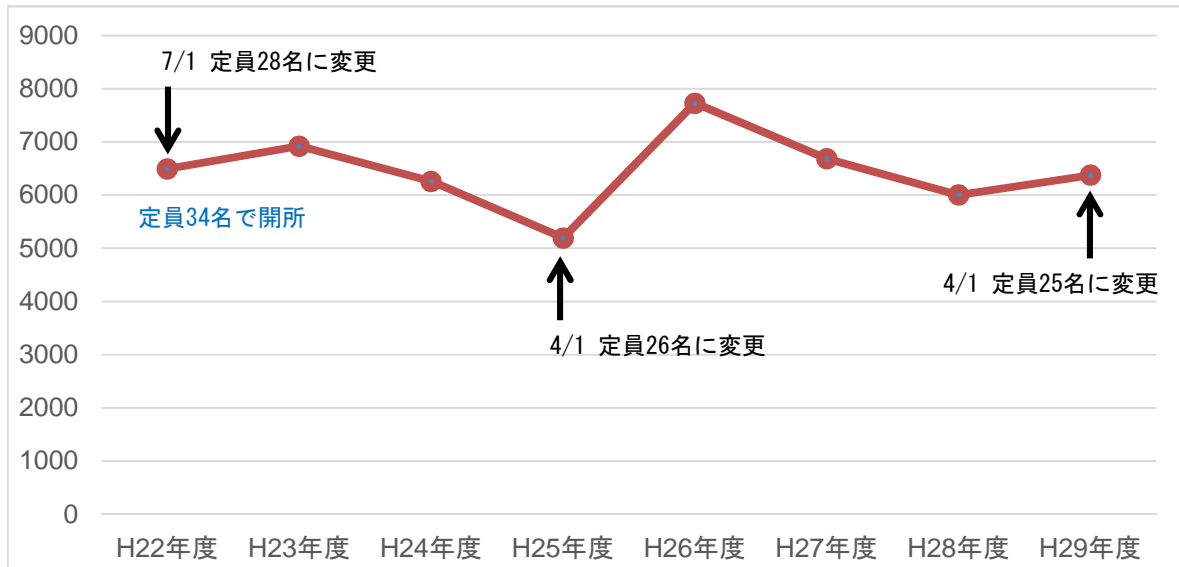


表 1

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
H22 年度	671	542	670	494	550	521	559	539	463	445	467	573	6,494	541.2
H23 年度	558	551	700	664	731	685	542	491	470	477	498	552	6,919	576.6
H24 年度	523	638	621	613	640	549	541	496	410	418	396	412	6,257	521.4
H25 年度	417	402	389	451	460	443	463	436	427	406	406	494	5,194	432.8
H26 年度	616	607	667	741	717	663	685	571	669	585	582	625	7,728	644.0
H27 年度	640	558	636	661	663	572	547	462	519	468	454	502	6,682	556.8
H28 年度	494	451	486	497	500	514	543	501	490	500	491	535	6,002	500.2
H29 年度	498	521	511	565	586	525	538	529	576	538	493	495	6,375	531.3

<生活訓練(知的・精神 2 年)>

グラフ 2

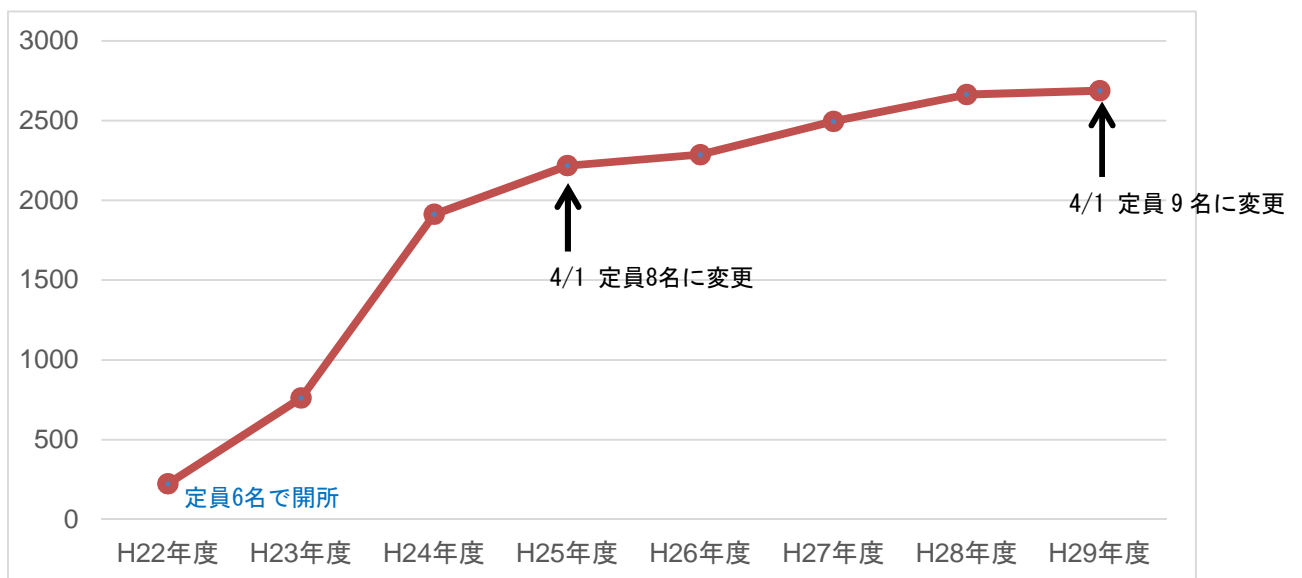


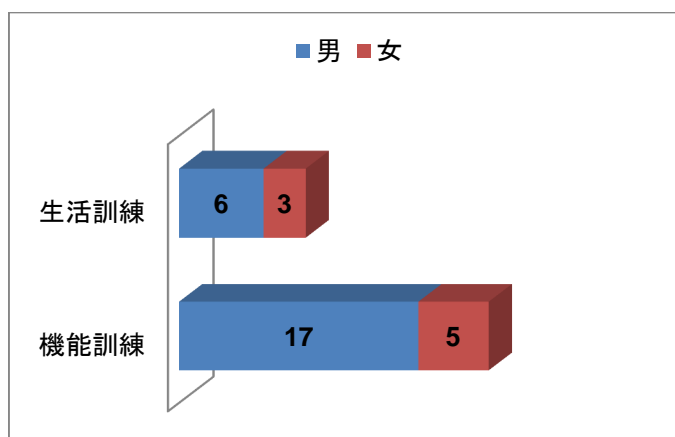
表 2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	0	0	0	0	0	20	20	20	23	38	39	64	224	18.7
H23年度	80	58	66	59	66	60	68	70	63	56	51	64	761	63.4
H24年度	110	153	150	147	186	162	199	190	158	154	140	164	1,913	159.4
H25年度	185	182	187	196	194	182	194	196	159	183	175	184	2,217	184.8
H26年度	165	175	174	163	164	208	243	199	220	195	184	197	2,287	190.6
H27年度	204	186	234	227	207	187	211	194	235	195	208	207	2,495	207.9
H28年度	194	202	225	209	210	209	219	246	244	243	226	236	2,663	221.9
H29年度	209	223	200	226	246	238	226	222	233	217	203	244	2,687	223.9

(2) 新規利用者(機能訓練 22 名・生活訓 9 名)の概要

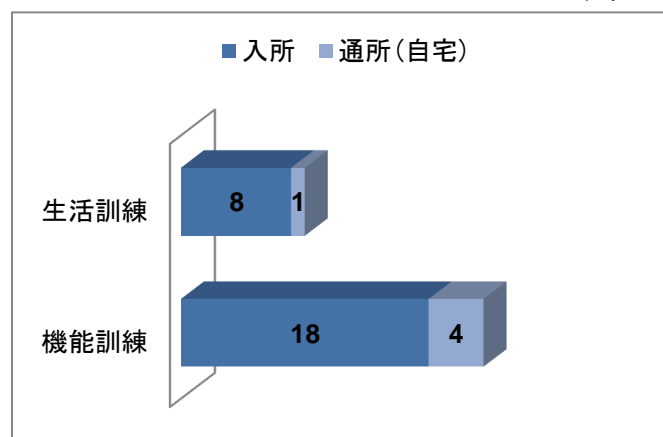
①男女比(人数)

グラフ 3



②利用形態(人数)

グラフ 4

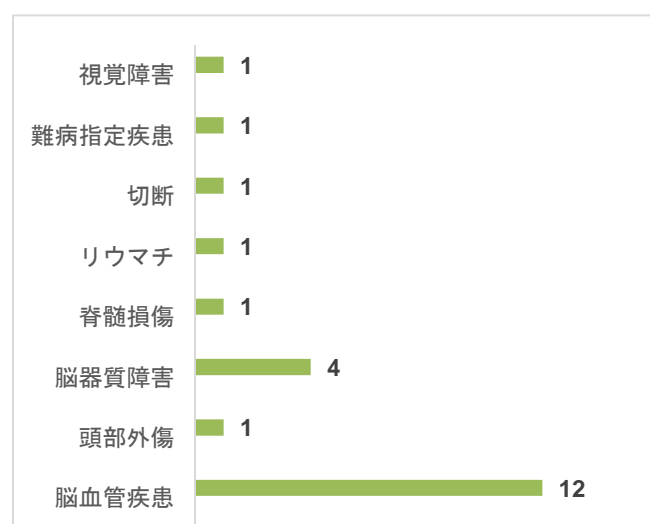


③転機元

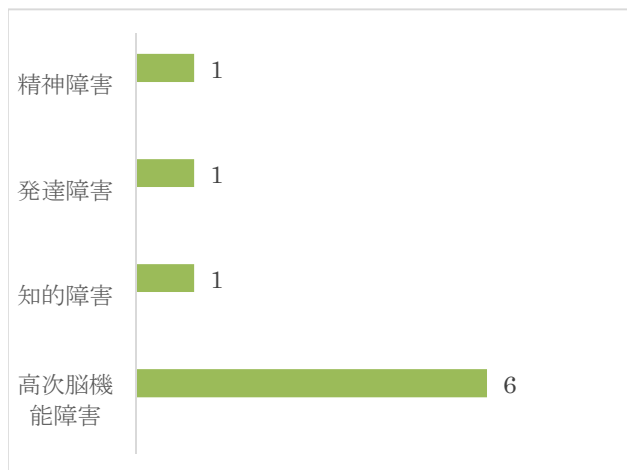
表 3

	機能訓練	生活訓練
病院	18	6
在宅	3	2
施設	0	1
ハビリホーム	1	0
計	22	9

④機能訓練利用者の病名・障害種別(人数) グラフ 5

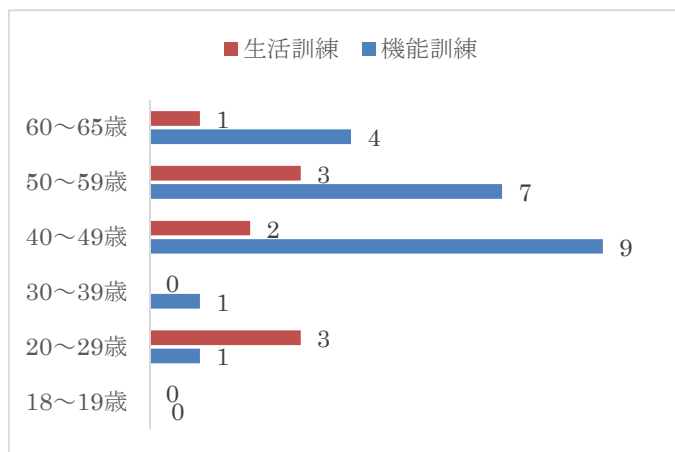


⑤生活訓練利用者の障害種別(人数) グラフ6



⑥年齢層(人数)

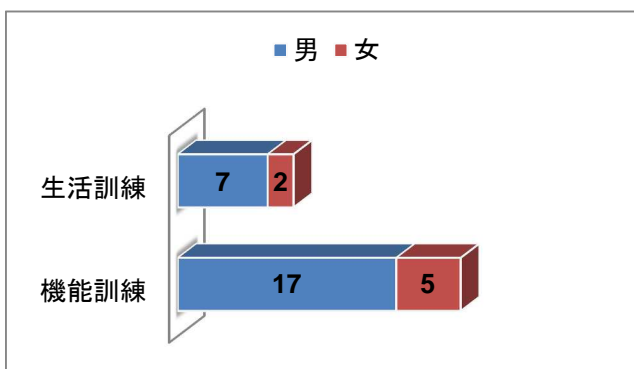
グラフ7



(3) 終了者(機能訓練 22名・生活訓練 9名)の概要

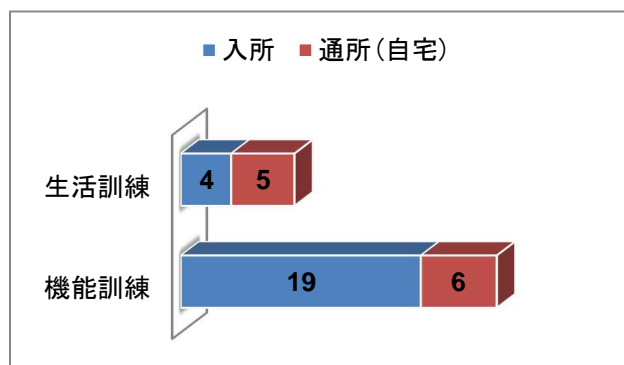
①男女比(人数)

グラフ8



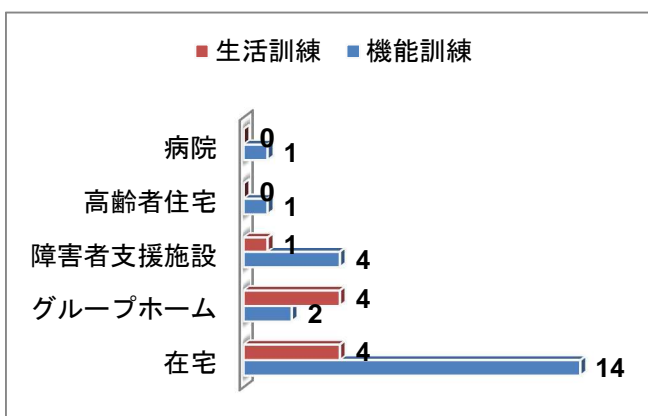
②利用形態(人数)

グラフ9



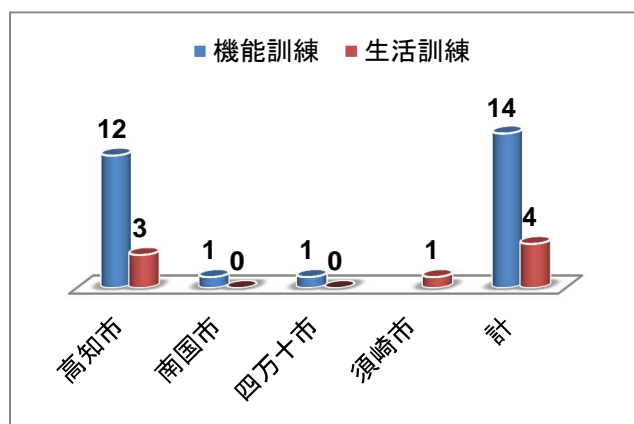
③終了者の生活の場

グラフ10



④在宅復帰市町村

グラフ11



平成29年度については1名が入院の為、機能訓練が終了となりました。また、表4に示しますように発症前の勤務先の理解があり、高次脳機能障害はあるものの就労移行を經由せず2名が復職しました。

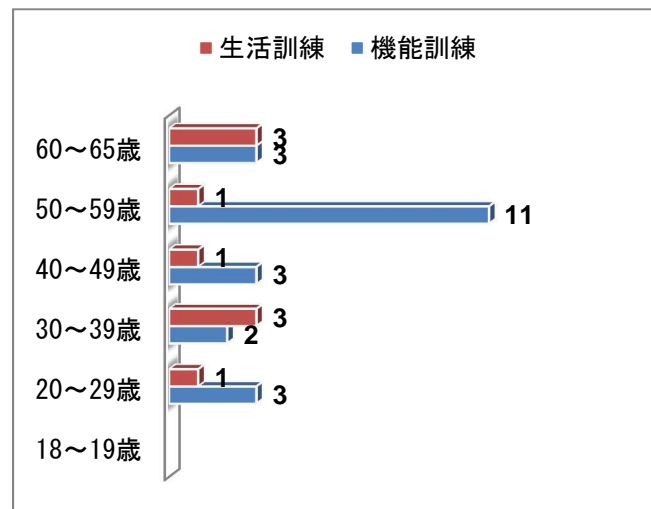
⑤終了後の活動先

表 4

	機能訓練	生活訓練
就労移行	1	1
B 型	4	4
生活介護	5	1
介護保険サービス	3	2
病院	0	0
その他	2	1
なし	5	0
復職	2	0
計	22	9

⑥年齢層(人数)

グラフ 12



2. 訓練実施状況

(1)施設内訓練

表 5

科目	訓練内容
P T	<p>最大限の機能能力 Up を図り、また、動作方法の検討や指導、車いす・補装具などの利用、環境調整を行い、自身の残存能力を最大限に発揮できるスキルを獲得。退所後の生活に向け、能力の維持向上、体調管理などの自己メンテナンスが行えることを目的とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行、階段昇降訓練 ・筋力強化訓練 ・バランス訓練 ・応用動作訓練 ・関節可動域訓練、ストレッチ ・物理療法 ・自主トレ指導、課題指導 ・機能能力評価、動作チェック ・ADL 評価、環境調整 ・車いす管理 ・装具・車いす相談
O T	<p>将来的な生活を見据えた日常生活動作の自立、作業遂行技能の向上を目的に動作訓練や課題の提示、代償手段の提供などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活動作訓練 ・家事動作訓練 ・和室内動作訓練 ・自助具作製 ・手指巧緻性訓練 ・高次脳機能障害評価、訓練 ・復職向けの作業活動 ・自動車運転に関する相談、適性検査への同行、免許センターとの連絡
パソコン	パソコンの基本操作から就労に向けてのビジネスソフト操作、また趣味や余暇

	<p>等生活場面での使用を目的としたパソコン技術の獲得を目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本操作：電源入切からマウス操作、入力練習を実施 ・ビジネスソフト：Word・Excel・インターネット操作の習得 ・高次脳機能障害に対する訓練ツール ・その他：希望に応じて資格取得や応用ソフトでの練習を実施
趣味・健康	<p>生活習慣病の予防や身体組成の改善、呼吸循環機能をはじめとする身体諸機能の維持向上のため行う。個人の目標を作り、取り組みの中で利用者自身の健康意識を高め、生活機能の低下防止、維持増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンタージム利用 ・レクリエーションスポーツ ・屋外散歩 ・園芸(プランター栽培、収穫後の調理)
コミュニケーション	<p>構音障害や失語症のある利用者に対して、テキスト形式やグループ活動を通して、コミュニケーションスキルの向上を図った。</p>
体カトレーニング	<p>障害者スポーツセンター職員より指導を受け、スポーツを通して、体力や活動性の向上を図る。趣味活動を提供する機会。高次脳機能障害に対する身体活動を通じた課題提供の機会。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ（ジムニックボール等） ・障害者スポーツ（ボッチャ・ペタンク・バドミントン・フライングディスク等）
グループ訓練	<p>各利用者を目的別にグループに分け、そのグループでの訓練を通して、それぞれの目標達成へ向け施設内外での訓練を実施。</p>

(2) 施設外訓練

ア. 個別

表 6

行き先	訓練目的
免許センター	運転適性検査による評価
施設周辺(瀬戸・長浜)	自転車や歩行での施設周辺移動の自立
病院	通院の自立
自宅	自宅周辺での移動の自立
エーマックス	買物の自立
金融機関	銀行利用の自立、ATM 操作の自立
タウンモビリティ利用	ボランティアの利用方法を知る
公共交通機関	バス、電車等の利用自立
施設・他事業所	方向性の決定

イ. 集団

道の駅なかとさ、道の駅南国ふらり、
 東部球場（ファイティングドックス試合観戦招待）、かるぽーと（劇団四季観劇招待）
 A-MAX（遠足買い出し）

ウ. プレースクリニック・家庭訪問等件数

表 7

	プレースクリニック	家庭訪問
件数	6	12

エ. その他（文化、芸術、スポーツ活動など）

表 8

行事名	開催日時	参加者数
遠足（ヤシィ・パーク）	平成 29 年 5 月 11 日、5 月 23 日	41
障害者スポーツ大会	平成 29 年 5 月 21 日、28 日	5
バリアフリーフェス	平成 29 年 6 月 17 日	5
頭脳スポーツ大会	平成 29 年 7 月 23 日	2
釣り	平成 29 年 7 月 27 日	5
高知 FD 試合観戦	平成 29 年 8 月 5 日	8
豪華客船見学	平成 29 年 8 月 22 日	19
障害者運転教室	平成 29 年 8 月 5 日	3
劇団四季	平成 29 年 9 月 30 日	4
スピリットアート展	平成 29 年 10 月 6 日～15 日	19
春野町文化祭	平成 29 年 11 月 3 日～11 月 5 日	11
駅伝大会	平成 30 年 1 月 28 日	2
りんご贈呈式	平成 30 年 1 月 29 日	3
卓球大会	平成 30 年 2 月 11 日	3

(3) 実習生

表 9

性別・学年	学校名・期間・その他	人数
男性・3 年	若草養護学校 平成 29 年 6 月 5 日～7 日	1
男性・2 年	日高養護学校 平成 29 年 11 月 6 日～17 日	1

平成 29 年度 障害者支援施設高知ハビリテーリングセンター
生活介護事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-29 年度)

グラフ 1

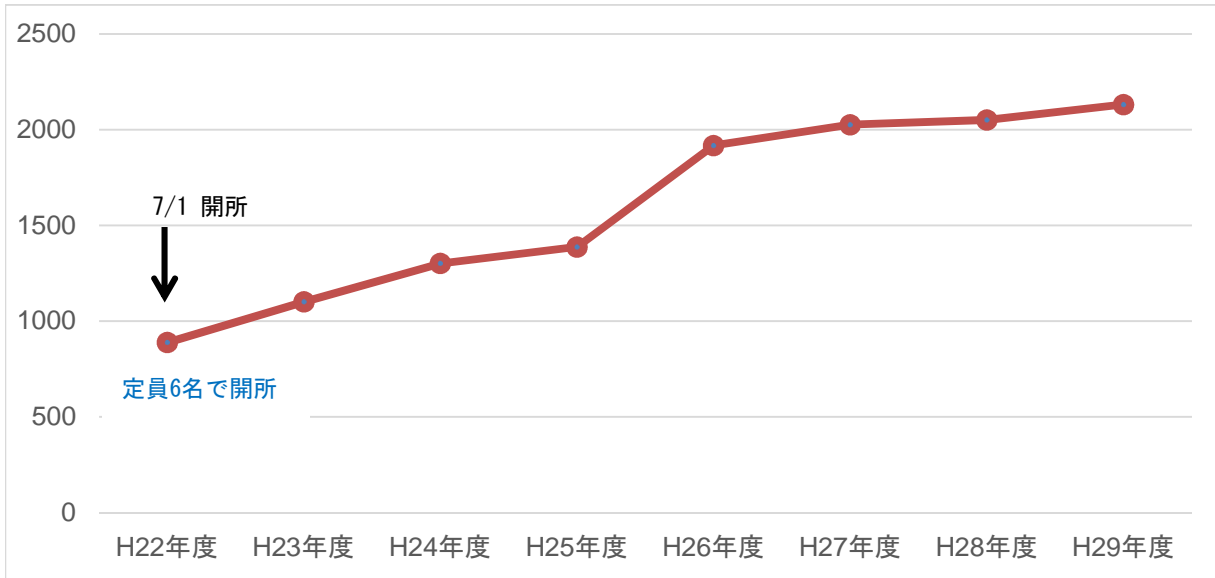


表 1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度				116	123	120	117	96	87	65	76	88	888	98.7
H23年度	60	57	66	60	67	55	120	125	120	114	126	131	1,101	91.8
H24年度	146	151	130	135	137	115	116	101	86	72	48	64	1,301	108.4
H25年度	84	94	105	126	116	96	102	94	124	142	137	167	1,387	115.6
H26年度	149	149	139	169	173	162	178	154	168	146	156	174	1,917	159.8
H27年度	169	158	173	174	172	164	187	181	156	145	167	180	2,026	168.8
H28年度	154	145	155	159	179	176	154	186	186	184	185	187	2,050	170.8
H29年度	190	205	206	198	203	174	170	175	168	143	154	145	2,131	177.6

(2) 新規利用者 3 名の紹介元

表 2

利用前事業	人数
機能訓練	1
生活訓練	0
B 型	1
介護保険(自宅)	1
計	3

(3) 新規利用者 3 名の年齢層と目的

表 3

年齢	人数	利用目的
60～65 歳	2	レベルダウン ショートステイ利用時
50～59 歳	1	ショートステイ利用時
40～49 歳	0	
30～39 歳	0	
20～29 歳	0	
18～19 歳	0	
計	3	

(4)利用終了者2名の転機(活動)先

表4

退所先	人数	終了理由	利用期間
自宅	1	短期入所利用の終了	平成26年7月16日～平成29年2月17日
障害者支援施設	1	入所受け入れ	平成27年8月1日～平成28年7月1日
計	2		

当センターの生活介護事業は、当センターの自立訓練終了後の次施設への入所待機者もしくは在宅調整の間、B型利用者のレベルダウンにより転機先が決定するまでの間の利用として受け入れをしています。また、短期入所者で利用されることが多くなります。

平成29年度より本館アネックスの一部屋を生活介護室としたことで、利用者には活動と生活のメリハリがついたように思われます。

2. 活動内容

表5

科目	内容
整容	身なりを整えることを怠らない習慣をつけていく。(更衣、ひげそり等)
運動	体力維持や能力低下を防ぐために適度に身体を動かす。
体カトレーニング	スポーツセンター指導員によるトレーニングを行う。
学習	頭の体操や認知症予防のために座学として行う。
手芸	手指の動きが衰えないように楽しみも兼ねて行う。
ゲーム	視覚的刺激や敏捷性等も鍛えられ楽しみながら頭脳の活性化を図る。
ドライブ(散歩)	季節感を味わう場所への外出訓練を行う。
DVD鑑賞	楽しみの時間。
創作活動	季節感のあるモノを考え、利用者が協力して作成する。
生産活動	生産活動を行い、日常生活の充実を図る。

平成 29 年度 障害者支援施設 高知ハビリテーリングセンター
施設入所支援事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-29 年度)

グラフ 1

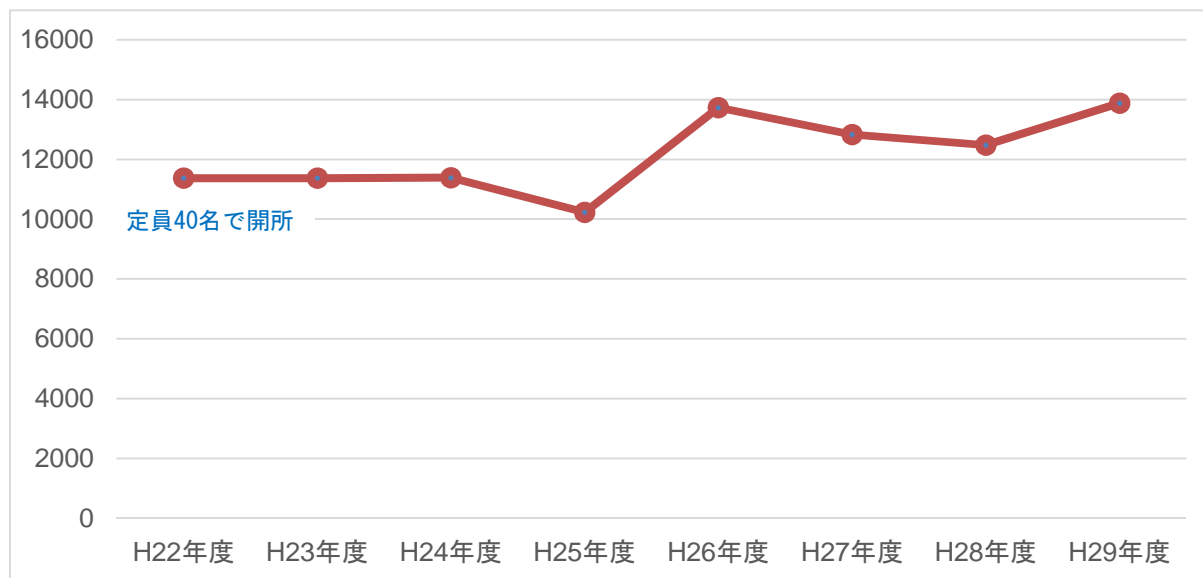


表 1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22 年度	956	933	954	913	960	998	1,086	988	925	863	853	940	11,369	947.4
H23 年度	918	957	987	1,055	1,034	1,050	932	889	903	879	816	947	11,367	947.3
H24 年度	951	1,107	1,051	1,054	1,128	1,056	1,019	961	854	770	676	757	11,384	948.7
H25 年度	807	799	814	903	891	849	873	808	775	822	875	1,011	10,227	852.3
H26 年度	1,101	1,175	1,158	1,187	1,185	1,146	1,178	1,112	1,167	1,125	1,059	1,133	13,726	1143.8
H27 年度	1,161	1,180	1,176	1,176	1,122	1,120	1,044	958	1,003	1,003	906	978	12,827	1068.9
H28 年度	986	949	977	994	1,035	1,054	1,086	1,037	1,036	1,057	1,090	1,171	12,472	1039.3
H29 年度	1,142	1,128	1,128	1,177	1,216	1,173	1,162	1,139	1,186	1,146	1,100	1,179	13,876	1,156.3

(2) 新規入所利用者 27 名の日中支援の内訳

表 2

事業名	人数
機能訓練	18
生活訓練	8
就労移行	0
B 型	1
生活介護	0
計	27

(3) 退所者 28 名の転居先(生活の場)

表 3

転居先	人数
自宅及びアパート	12
老人介護施設	0
障害者支援施設	7
病院	1
ハビリホーム	6
その他	2
計	28

平成 29 年度 障害者支援施設 高知ハビリテーリングセンター
短期入所支援(空床型・併設型)事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-29 年度)

グラフ 1

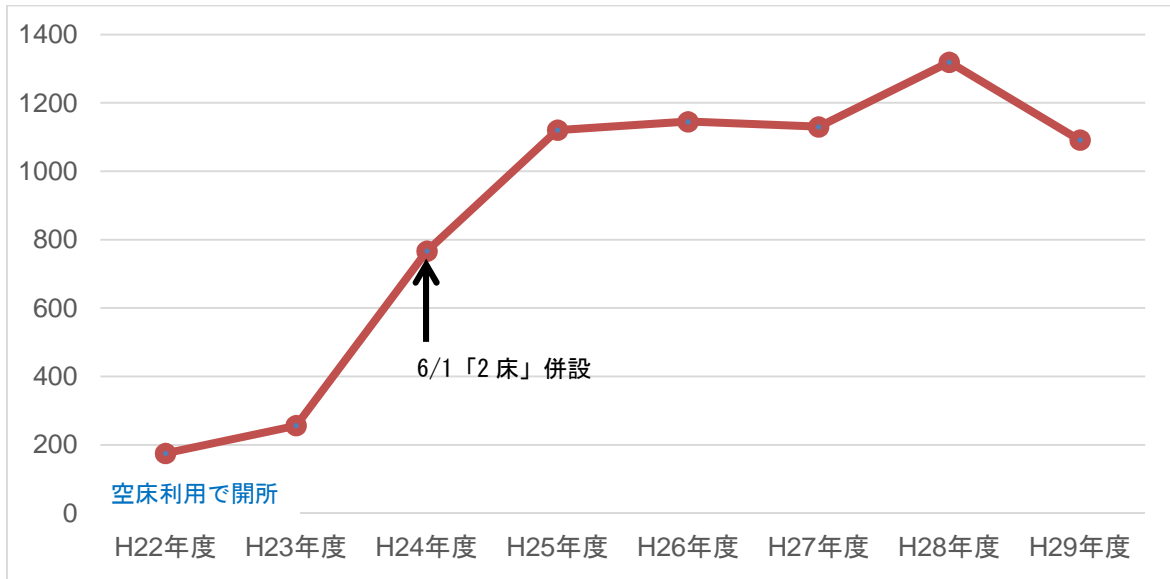


表 1

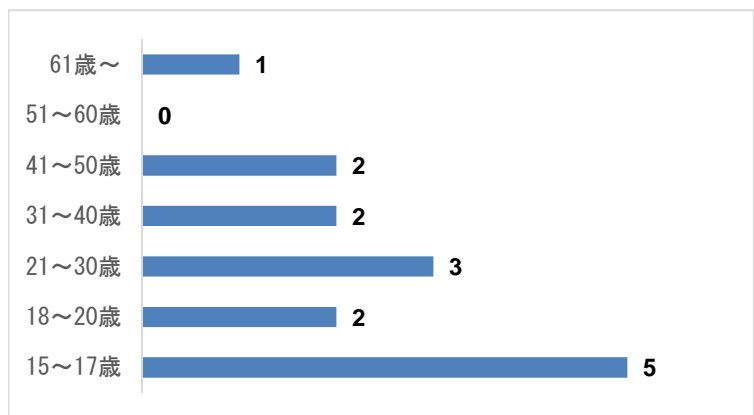
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	9	16	9	36	10	15	26	9	11	10	11	13	175	14.6
H23年度	17	9	9	11	17	11	20	24	19	26	42	51	256	21.3
H24年度	44	26	37	33	68	67	73	85	82	94	79	78	766	63.8
H25年度	110	84	104	88	127	93	81	79	67	85	71	131	1,120	93.3
H26年度	98	110	97	99	95	105	83	96	84	100	78	100	1,145	95.4
H27年度	84	75	73	82	95	73	84	118	91	82	121	152	1,130	94.2
H28年度	141	128	104	104	123	101	117	139	135	98	69	60	1,319	109.9
H29年度	75	91	88	85	76	95	100	99	82	93	92	115	1,091	90.9

(2) 年度別利用登録者(児)数 表 2

年度	登録数
平成 22 年度	8
平成 23 年度	13
平成 24 年度	21
平成 25 年度	20
平成 26 年度	18
平成 27 年度	20
平成 28 年度	19
平成 29 年度	15
現在の登録者数	120

(3) 新規登録者児 15 名の年齢層(人数)

グラフ 2



平成 29 年度 アルベータ 就労移行支援事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-29 年度)

グラフ 1

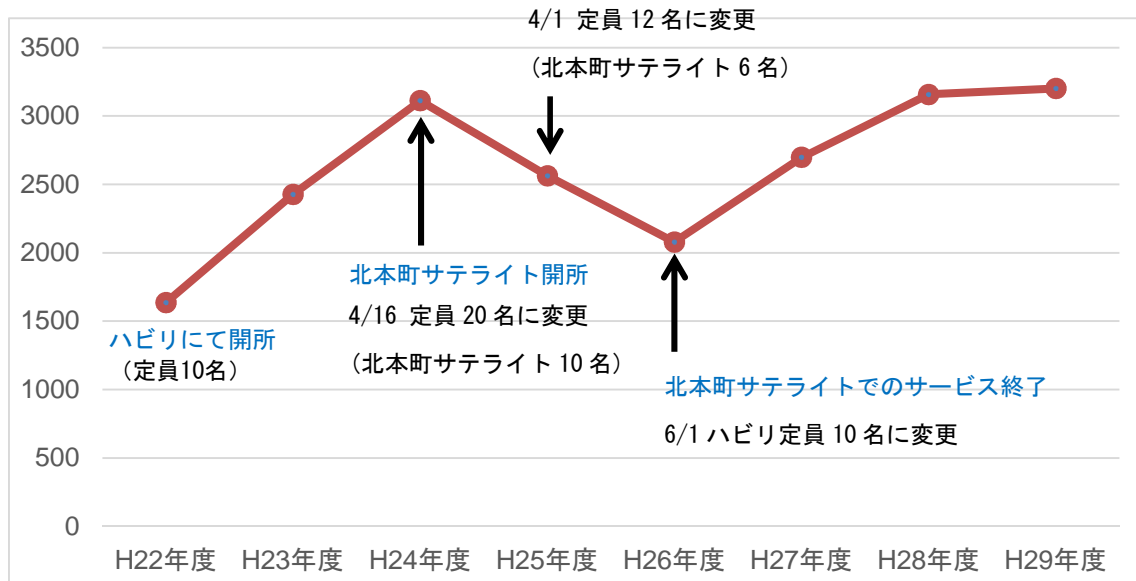


表 1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	80	91	130	126	124	115	138	156	160	155	162	197	1,634	136.2
H23年度	176	146	218	209	220	191	224	225	208	187	197	225	2,426	202.2
H24年度	275	321	271	257	261	214	265	262	259	231	232	263	3,111	259.3
H25年度	239	240	227	245	223	207	221	189	185	181	180	226	2,563	213.6
H26年度	130	125	218	193	136	164	192	170	201	179	150	220	2,078	173.2
H27年度	200	177	223	223	202	227	214	235	216	263	253	264	2,697	224.8
H28年度	237	239	282	289	286	269	259	266	247	256	251	276	3,157	263.1
H29年度	272	284	293	294	289	268	289	266	222	240	238	245	3,200	266.7

(2) 新規利用者 8 名の概要 (就労アセスメント利用者は除く)

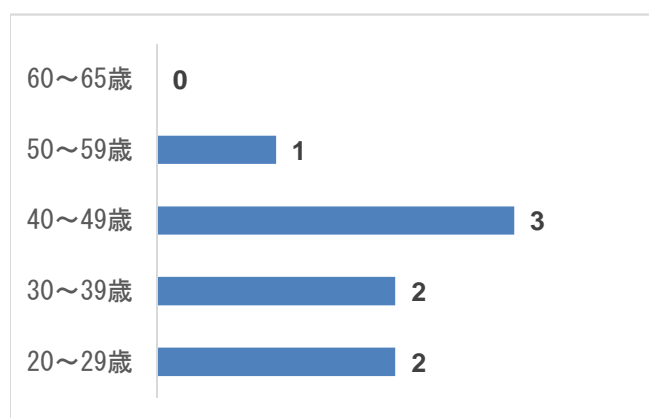
①利用形態

表 2

ハビリ入所	0
ハビリホーム	2
自宅	6
計	8

③新規利用者の年齢層(人数)

グラフ 2



②利用前状況

表 3

自立訓練	2
B型	0
企業	0
在宅	6
計	8

(3) 就労アセスメント(8名)

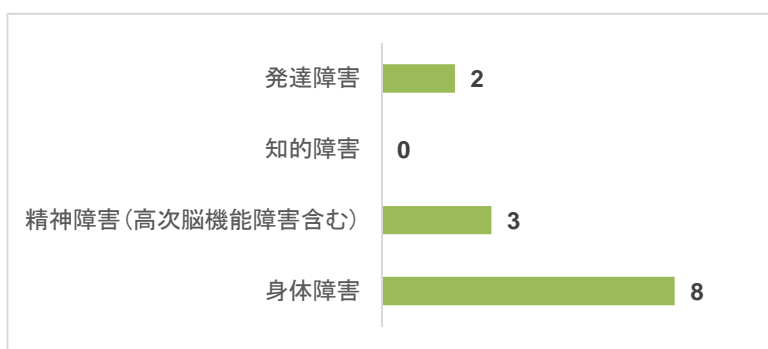
表 4

実施期間	所 属
平成29年 5月12日～平成29年 6月13日	高知大学付属特別支援学校
平成29年 6月 5日～平成29年 7月13日	デイケア
平成29年10月16日～平成29年11月13日	高知大学付属特別支援学校
平成29年10月24日～平成29年11月29日	高知大学付属特別支援学校
平成29年10月25日～平成29年11月22日	高知大学付属特別支援学校
平成29年11月 2日～平成29年12月 5日	機能訓練
平成29年11月 7日～平成29年12月15日	高知大学付属特別支援学校
平成29年12月11日～平成30年 1月10日	無(自宅)

(4) 終了者 13名の概要

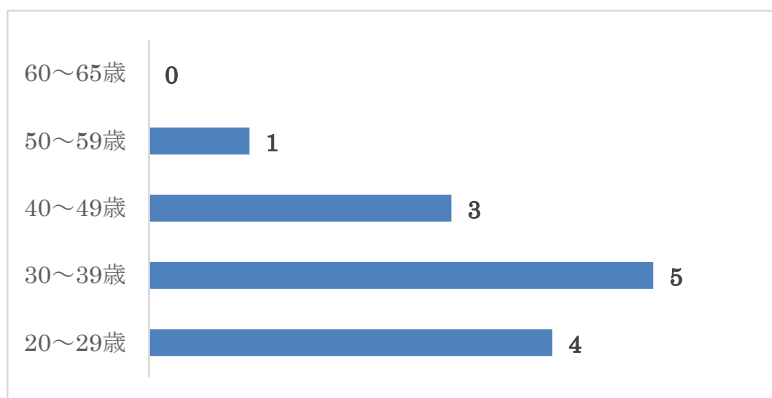
① 障害種別

グラフ 3



② 年齢層(人数)

グラフ 4



(5) 平成 29 年度 終了者 13 名の就職(活動)先等

表 5

退所日	就職先	職 種	利用期間
平成29年 5月31日	(入院)		1年2ヶ月
平成29年 5月31日	(入院)		1年5ヶ月
平成29年 6月13日	株式会社 大洋運輸	事務補助	2年3ヶ月
平成29年 9月 4日	はるの若菜荘	ランドリー	7ヶ月
平成29年 9月30日	大津ふれあいセンター	図書業務	1年
平成29年10月31日	高知総合リハビリテーション病院	事務補助	2年5ヶ月

平成29年11月30日	グループホームうしおえ	清掃	1年3ヶ月
平成29年11月30日	びーねっと (A型)	ネット販売データ作成	1年11ヶ月
平成29年12月11日	(別事業所への移行準備の為)		1年8ヶ月
平成30年 2月28日	せるぽ (A型：在宅)	テープ起こし	1年10ヶ月
平成30年 3月18日	高知ハビリテーリングセンターB型	印刷科	2年
平成30年 3月19日	株式会社 ソフテック	データ入力	1年4ヶ月
平成30年 3月31日	高知県社会福祉協議会	事務補助	9ヶ月

(6)平成 28 年度以前の職場定着者

表 6

就労期間	就職先	職 種
7年10ヶ月	近森病院	用度
6年	近森病院	画像データ処理
4年 7ヶ月	サンシャイン	商品陳列等
4年 3ヶ月	ゲオ四万十店	店内清掃、CD・DVD 返却業務
4年	梶原町役場	事務
3年 2ヶ月	高知中央郵便局	事務
2年 9ヶ月	オフィスコーポレーション	事務機メンテナンス
2年 1ヶ月	エームサービス	調理補助
2年	いの町役場	事務
2年	高知西病院	事務
1年 7ヶ月	土佐御苑	事務補助
1年 6ヶ月	とさでん交通	車内清掃
1年	特別養護老人ホーム 海の里	ランドリー
計	13名	

※平成 29 年度内に退職者は無し

2. 訓練内容

表 7

施設内訓練	
作業	耐久性や巧緻性、集中力を身に付け、向上させる事を目的に様々な作業や基礎的学力向上をめざした学習を実施。
座学	履歴書の書き方や電話対応、名刺の渡し方等、社会人として必要となるマナーを身に付けるとともに模擬面接を実施し、就職活動に必要な技能の習得を目指した。
パソコン	実務能力として必要不可欠な入力スピード・正確性の習得を中心に Word・Excel を使用した実務課題や MOS 検定合格に向けての模擬試験の実施。毎月の移行通信の作成を行った。
講演会	関係機関や就労に就いている障害者の方から就労についての講演をして頂いた。
施設内実習	四国管財様にご協力頂き、実習前訓練を実施。
施設外訓練	
職場実習	具体的な就労イメージを付けるとともに、適応職種・職場を見つける事を目的に実施。主な実習先：接客業、製造業、介護業、清掃業、調理補助等

外出訓練	職場見学やハローワーク訪問等、就職活動に繋がる外出を実施。
トライアル雇用	1名
委託訓練事業	2名

3. 職場実習状況

(1)実習先 新規開拓企業名

表 8

	22年度		23年度		24年度
1	JA 春野	1	サンリバー四万十	1	アルベータ北本町
2	サニーマート	2	マルナカー一条店	2	(株)フォーティーエス
3	四国管財	3	ユニクロ四万十店	3	サンシャインベルティス
4	フタガミ	4	トヨタ四万十店	4	業務用スーパー一宮店
5	四国ライフケア虹の里	5	新ロイヤル四万十	5	(有)西村膳写堂
6	マルニ朝倉店	6	シュープラザ四万十店	6	ワーブ園芸文化舎
7	せるぼ(A型)	7	フジ四万十店	7	よさこいねっと
8	青柳	8	グラッツェミーレ	8	平成福祉専門学校
9	きらり(A型)	9	南国病院	9	キタムラビジネスソリューション
10	コーケン(A型)	10	細木病院	10	(有)池沢農機商会
11	まるなか土佐店	11	寿工務店	11	高南メディカル
12	かがみの			12	近森病院北館(医師食堂)
13	ダックス(特例子会社)				
14	ヤマサキ				
15	フジグラン				
16	イオン高知				
17	ワークみらい(A型)				
18	サンプラザ				
19	キタムラ				
20	森光石油				
21	ユニクロ土佐道路				
22	近森病院				
	25年度		26年度		27年度
1	サンシャインベルティス	1	アルコデイトレセンター	1	株式会社 栄光工業
2	サンシャインクラージュ	2	ティンカーベル	2	高知県社会福祉協議会
3	サンプラザ 一宮店	3	エームサービス	3	高知土木事務所
4	よさこいネット	4	いずみの病院	4	オフィスコーポレーション
5	ワーブ園芸文化舎	5	フードプラン	5	はるの若菜荘
6	フジグラン四万十			6	土佐御苑
7	ゲオ 四万十店			7	みかんの丘(A型)
8	池澤農機商会			8	高知西病院
9	豚太郎 瀬戸店				
10	虹の夢(A型)				
	28年度		29年度		30年度
1	特別養護老人ホーム海の里	1	きんろう病院		
2	とさでん交通	2	イオン旭店		
3	うららか保育園	3	グループホームうしおえ		
4	土佐市民病院	4	ハートフルコフ 高知		
5	枝川自動車	5	高知総合リハビリテーション病院		
6	大洋運輸	6	岡村病院		
7	びーねっと(A型)	7	大豊とうふ		
8	さくらさく(A型)	8			
9	サスケ工房(A型)				

(2)平成 29 年度の実習先 (順不同)

表 9

大洋運輸	きんろう病院	ウェルジョブキッチンやまだ (A 型)
はるの若菜荘	イオン旭店	せるぼ (A 型)
グループホームうしおえ	ハートフルコープ高知	びーねっと (A 型)
高知総合リハビリテーション病院	岡村病院	ティンカーベル (A 型)
ソフテック	大豊とうふ	

※トライアル雇用：2名(はるの若菜荘・ソフテック)

※委託訓練：1名(大洋運輸)

(3)実習状況 (トライアル雇用、委託訓練事業を含む)

表 10

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実習回数	4	6	4	3	3	4	4	2	1	4	3	2
実習者数	4	6	4	3	3	4	4	2	1	3	2	2
実習企業数	4	6	4	3	3	4	4	2	1	3	3	2
実習延べ日数	48	32	51	35	31	27	39	22	5	31	25	20
企業訪問 (職員)	38	22	15	11	9	20	23	8	2	8	11	6
アフターフォロー (職員)			1	1	1	3	3	5	5	8	5	4

※トライアル雇用…障害者の試行雇用を行い、継続雇用へ移行するために適性の確認を行う

※委託訓練…障害者が居住する地域で様々な職業訓練資源を活用し、個々の障害者に応じた職業訓練を行う

2. OB会(アフターフォロー)

表 11

	日時、場所	内 容	利用者	OB
第一回	4月2日(日) 11:00~13:00 高知ハビリテーションセンター	花見	6名	21名
第二回	7月15日(土) 10:00~13:00 高知ハビリテーションセンター	講演会「自分の気持ちや考えをうまく伝えるコツ」 講師：橋田氏、深木氏 高知市保健所精神病担当係 食事会	9名	18名
第三回	12月10日(日)11:00~13:00 タンドルテーブル	クリスマス会&忘年会	6名	19名

平成 29 年度 アルペーテ 就労継続支援 B 型事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移(22-29 年度)

グラフ 1

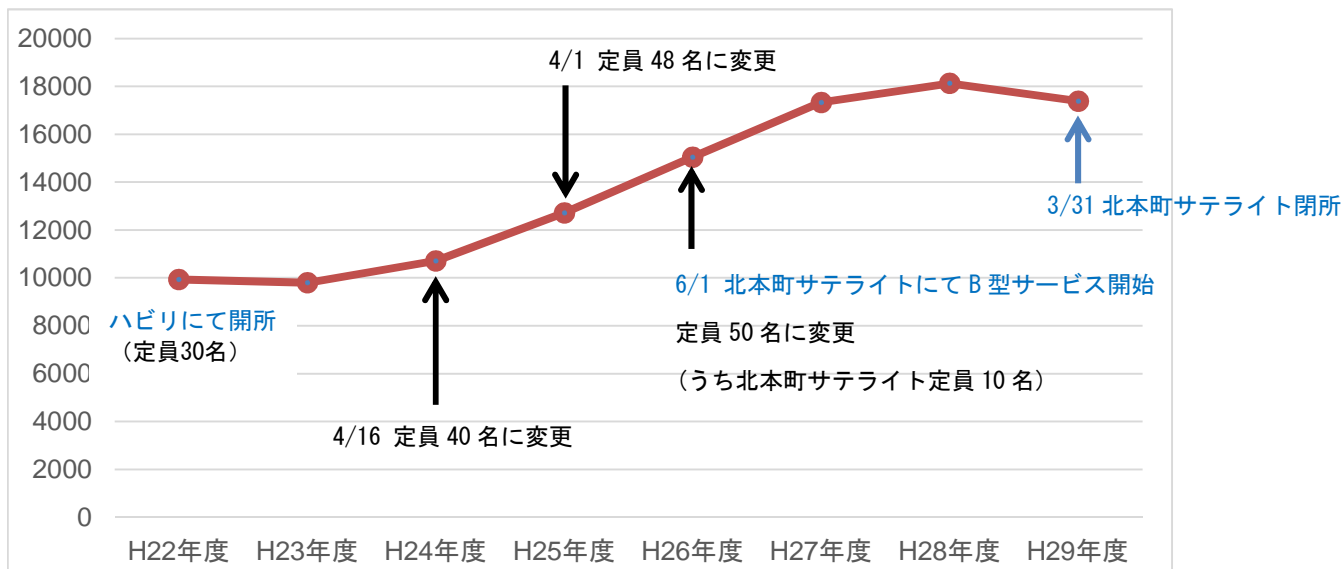


表 1

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	月平均
H22 年度	853	773	926	876	859	823	804	813	784	781	784	852	9,928	827.3
H23 年度	755	726	830	766	835	769	796	858	814	827	901	917	9,794	816.2
H24 年度	849	855	917	914	941	840	995	927	849	841	879	904	10,711	892.6
H25 年度	1,036	1,047	1,030	1,089	1,049	934	1,134	1,121	1,086	1,019	1,041	1,128	12,714	1,059.5
H26 年度	1,201	1,183	1,220	1,288	1,253	1,241	1,280	1,150	1,343	1,205	1,243	1,438	15,045	1,253.8
H27 年度	1,461	1,302	1,470	1,511	1,392	1,370	1,487	1,396	1,514	1,399	1,437	1,589	17,328	1,444.0
H28 年度	1,502	1,450	1,538	1,532	1,565	1,468	1,502	1,497	1,552	1,411	1,460	1,647	18,124	1,510.3
H29 年度	1,403	1,453	1,499	1,427	1,462	1,405	1,471	1,450	1,505	1,392	1,345	1,570	17,382	1,448.5

(2) 新規利用者 16 名の概要

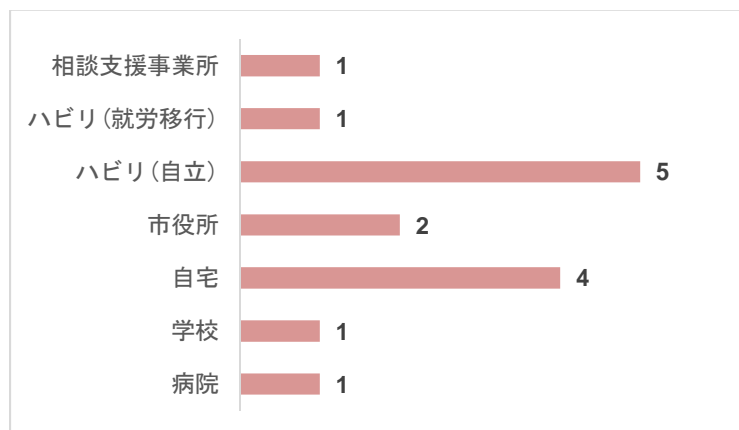
① 男女比(人数)

表 2

男	9
女	6
計	15

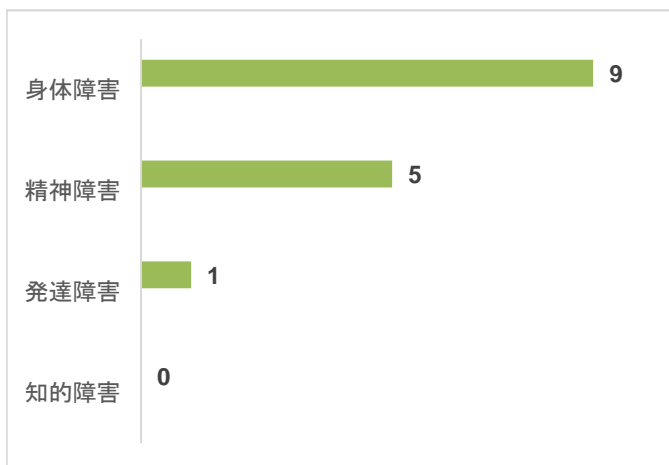
② 紹介元(人数)

グラフ 2



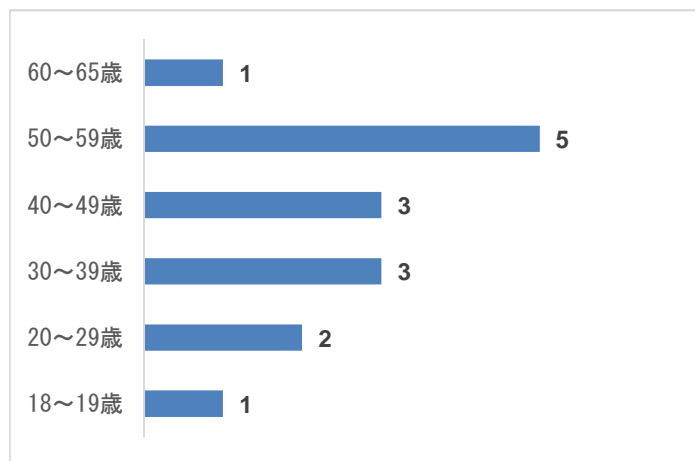
③障害種別(人数)

グラフ3



④年齢層(人数)

グラフ4



(3)利用終了者 12名の概要

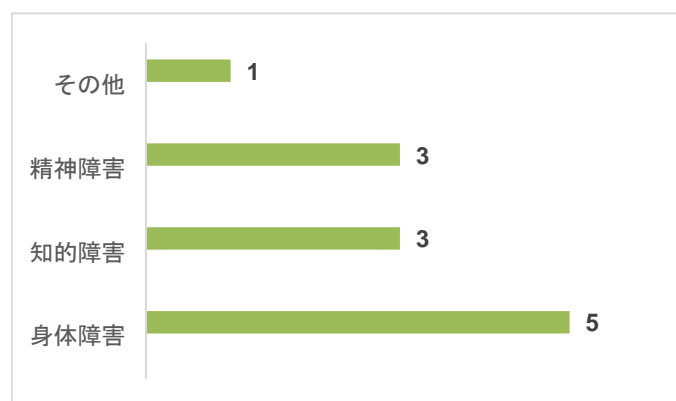
①男女比

表3

男	6
女	6
計	12

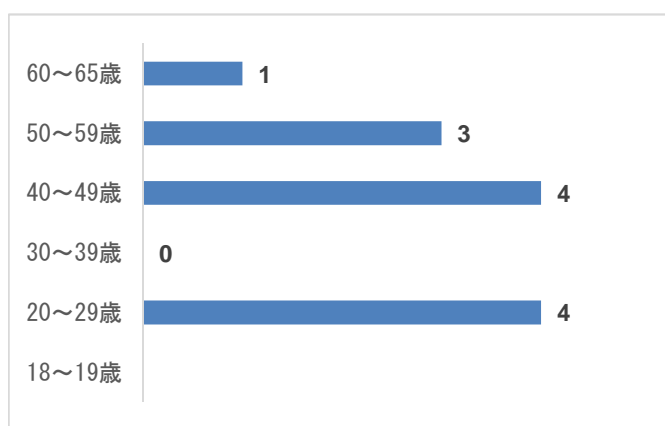
②障害種別(人数)

グラフ5



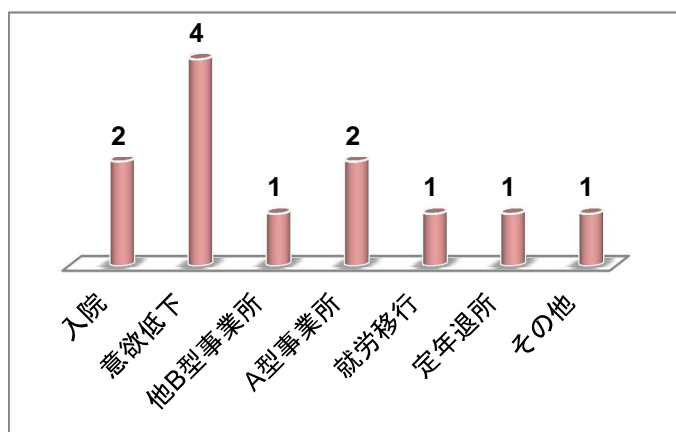
③年齢層(人数)

グラフ6



④終了理由

グラフ7



2. 実習生

表 4

性別・学年	学校名・期間・その他	人数
男性・高校3年	市立特別支援学校・5/29～6/9、9/4～9/15	1
男性・高校3年	市立特別支援学校・5/29～6/9、9/4～9/15	1
女性・高校2年	市立特別支援学校・11/13～11/24	1
女性・高校1年	市立特別支援学校・10/30～11/10	1
男性・高校1年	市立特別支援学校・10/30～11/10	1

※利用に繋がった人は無し

3. 生産活動

表 5

作業科目	作業内容
印刷科	封筒印刷、名刺、広報誌、ハガキ、処方箋等の印刷仕上げまでの作業工程の中で ①制作部…入力、データ作業、画像補正、校正 ②仕上げ…紙折り、検品
クリーニング科	病院スタッフユニフォーム洗濯、シーツ類洗濯、高知ハビリテーリングセンタースタッフユニフォーム、利用者私物洗濯、シーツ交換
軽作業科	脂取り紙の加工作業、DM袋入れ作業、封筒三つ折り作業 箱製作(手織り)、ティッシュ詰め、耳つぼジュエリー
農芸科	畑作業(土作り、草引き、種まき、野菜の洗い、出荷準備、配達) ナス詰め込み作業
パン工房科	パンの製造、販売

4. 取引先リスト(個人取引除く)

表 6

科名	業者名
印刷科	・永井病院・日本珊瑚協会 ・聖園ベビーホーム ・高知県(障害保健福祉課) ・はるの森澤クリニック ・青い空 ・あじさい園 ・聖園天使園 ・木内工芸 ・(有)タカハシ ・前川珊瑚工房 ・高知県珊瑚協会 ・ヘルパーステーションえのくち ・高知高齢、障害者雇用支援センター ・社会医療法人近森会 ・高知職業訓練支援センター ・日高村役場 ・高知労働局 ・エール薬局グループはる ・もみの木病院 ・ふたばクリニック ・白菊園病院
クリーニング科	・社会医療法人近森会 ・ハビリ ・はるのハビリホーム ・高知高齢・障害者雇用支援センター ・高知県立盲学校 ・日本政策金融公庫
軽作業科 (本館) (箱製作)	・富士紙化学(株) ・(株)エヌ・シー・ビー ・こうち生活協同組合 ・和光製紙(株) ・こだかさ更生センター ・桂 ・福辰 ・吉永 ・高知大丸 ・(株)満天の星 ・池一菜果園 ・(株)浜幸 ・(有)クラフトハート ・フロムハート ・大豊町基石茶協同組合 ・(株)トライ ・城西館

農芸科	・エームサービス(株) ・近森産業 ・社会医療法人近森会 ・はるの若菜荘 ・(有)五藤青果
パン工房科	・永井病院 ・社会医療法人近森会 ・ウェーブ ・ハビリ ・エームサービス(株) ・すこやか杜 ・南部障害者福祉センター

平成 29 年度の延べ利用者数は、昨年度より減少しています。ただし、B 型でのステップアップとして A 型や就労移行へと進まれることは嬉しいことです。

当センターの利用者は車椅子利用者で片麻痺の方や高次脳機能障害のある方が多く、生産活動を行う為に自助具や環境整備としての視覚支援を要します。また、作業確保に向けての努力は欠くことができず、高い支援力も求められます。特に軽作業においては、自助具使用や流れ作業の組み立てを円滑にしている為、仕上がり品は高評を得ています。

県時代からの利用者は 11 名、約半数となりました。

印刷科

新規取引先が増えたことにより業務が複雑化してきたため、業務整理・改善が必要になってきました。印刷科に配属していたものの軽作業が主となっていた利用者は、軽作業室において作業をすることにしました。

クリーニング科

現状の取引量を維持しつつ、機器の空き時間をなくすことができるよう作業を入れてきました。本館のシーツ交換の作業も安定して行えるようになっていきます。

軽作業

利用者への十分な作業量を確保し、より高い作業単価の作業を受注することにより、軽作業でも利用者工賃の向上を目標としていきたいと思えます。

本館、別館、アルベータと 3 カ所での作業を一部屋にしたことで、支援が行き届くようになりました。

パン工房科

新たな方向性としてラスクの商品開発を行い始めました。

春野高校とのコラボで行った帽子パンは、4 ヶ所のイベント(すこやか春野交流会 125 個、春野高校文化祭 603 個、平成福祉専門学校介護の日 100 個、文旦祭 215 個)で販売し、いずれも完売となりました。

農芸科

天候不順の影響によりナス作業の収入が半減しています。今後は、安定して作業量・収入が見込める柚子作業を導入していく予定です。

長浜公園清掃

自閉症の利用者が主となり行っていますが、限定された回数を休むことなく定着しています。

ハビリホーム清掃

9 月から開始、熱心に取り組んでいます。今後は、利用者自身が技術をあげるよう支援を行っていきます。

5. 作業工賃

平成 29 年度の工賃総支給額

表 7

月	登録者数(人)	実利用者数(人)	総支給額(円)	平均工賃額(円)
4月	93	85	1,133,200	13,331
5月	94	85	1,183,560	13,924
6月	94	89	1,210,560	13,601
7月	93	88	1,160,980	13,192
8月	93	85	1,167,300	13,732
9月	91	87	1,096,340	12,601
10月	94	89	1,146,020	12,876
11月	94	88	1,148,000	13,045
12月	95	91	1,187,780+1,145,000	25,634
1月	94	90	1,115,520	12,394
2月	94	89	1,072,960	12,055
3月	96	92	1,242,940	13,510
総数	1,125	1,058	15,010,160	

年間平均工賃額 14,187 円

6. 平成 29 年度収支実績

表 8

	平成 28 年度…①	平成 29 年度…②	差異…②-①
延利用者数	18,128 名	17,382 名	746 減
支払い対象者数	1,097 名	1,058 名	39 名減
延利用時間	97,015 時間	92,314 時間	4,701 時間減
工賃総額	16,893,820 円	15,010,160 円	1,883,660 円減
平均工賃月額	15,400 円	14,187 円	1,213 円減
作業収入	45,312,529 円	37,211,136 円	8,101,393 円減

※平成 28 年度末のアルバーテ北本町閉鎖に伴い年間 9,154,706 円（駐車場、洗車作業収入）の減収となっております

平成 29 年度 はるのハビリホーム 共同生活援助 (GH) 事業報告

1. 利用者状況

(1) 延べ利用者数合計の推移 (22-29 年度)

グラフ 1

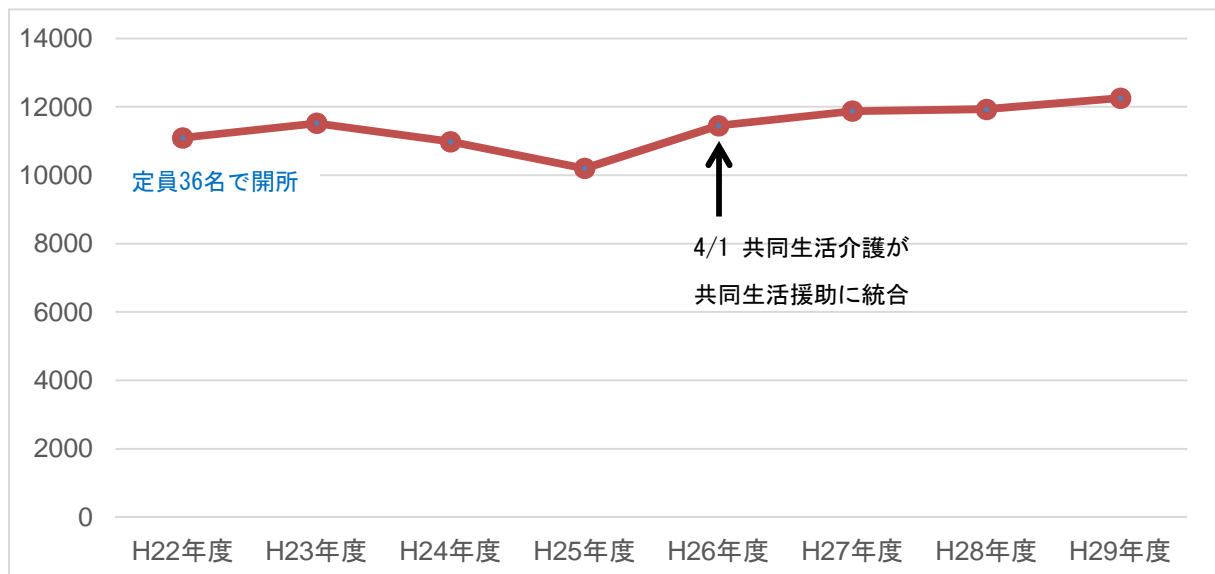


表 1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H22年度	903	918	918	918	916	891	916	900	947	955	906	1,004	11,092	924.3
H23年度	958	918	950	971	964	939	950	982	977	964	949	997	11,519	959.9
H24年度	951	931	905	947	956	913	963	932	951	899	809	822	10,979	914.9
H25年度	803	815	809	851	857	841	919	870	881	863	808	883	10,200	850.0
H26年度	868	926	978	1,005	964	931	960	908	965	967	941	1,034	11,447	953.9
H27年度	1,009	987	1,017	1,060	1,001	950	982	921	967	971	980	1,028	11,873	989.4
H28年度	977	973	966	1,045	970	949	982	1,016	1,040	1,027	945	1,038	11,928	994.0
H29年度	995	1,014	997	1,014	991	1,086	1,064	1,020	1,040	1,015	958	1,059	12,253	1,021.1

(2) 入居者の概要 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

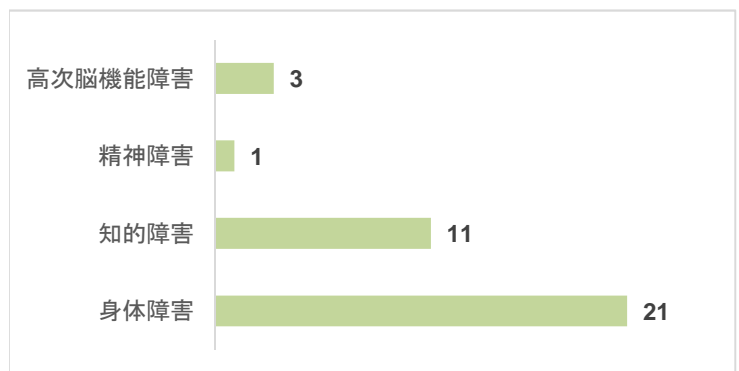
① 男女比

表 2

男	28
女	8
計	36

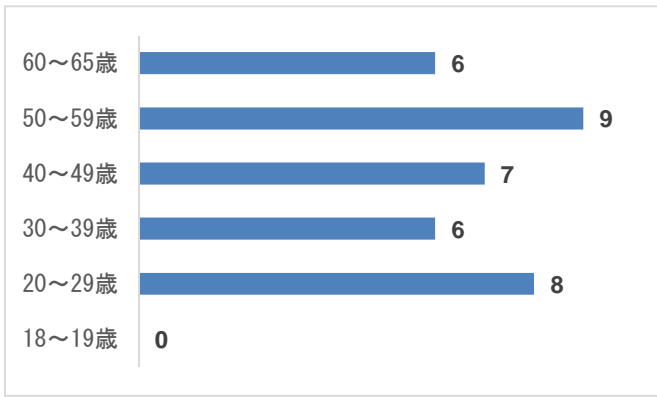
② 36名の障害種別

グラフ 2



③36名の年齢層

グラフ3



④平均年齢 43.6歳

⑤平均障害支援区分 2.6

⑥日中活動先 表3

事業名	人数
就労移行	1
B型	34
生活介護	1
計	36

(3)平成29年度 新規利用者4名の概要

①新規入居者4名の入居前居所 表4

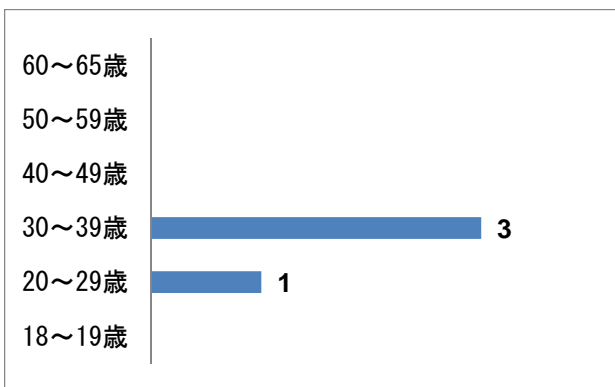
事業名	人数
ハビリ本館	4
自宅	0
他事業所	0
計	4

②日中活動先 表5

就労移行	1
B型	3
計	4

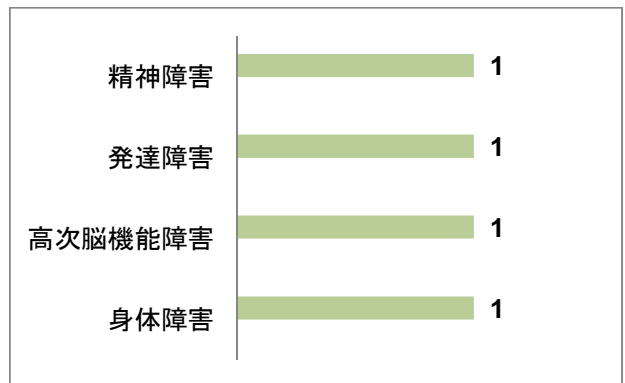
③年齢層(人数)

グラフ4



④障害種別(人数)

グラフ5



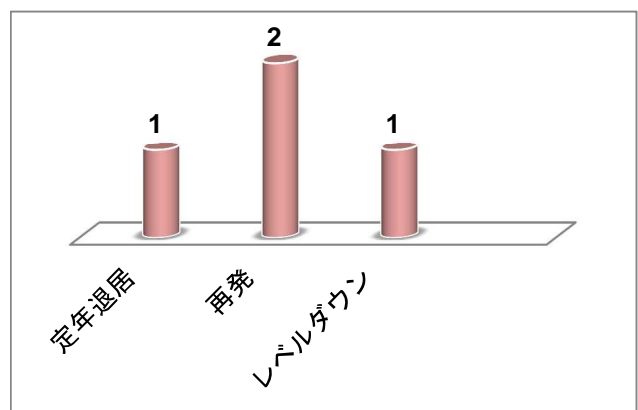
(4)退居者4名の概要

①退居者4名の転居先 表4

復帰先	人数
病院	2
ハビリ本館	1
高齢者賃貸住宅	1
計	4

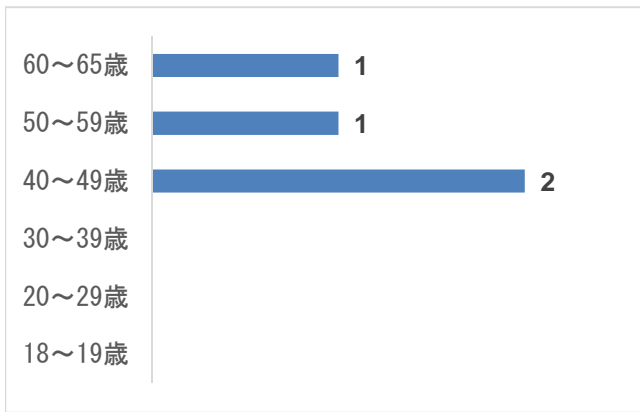
②退居理由

グラフ6



③年齢層(人数)

グラフ7



平成 29 年度 高知ハビリテリングセンター放課後等デイサービス
「キュール」 事業報告

1. 利用児状況

(1) 延べ利用児数合計の推移(22-29 年度)

グラフ 1

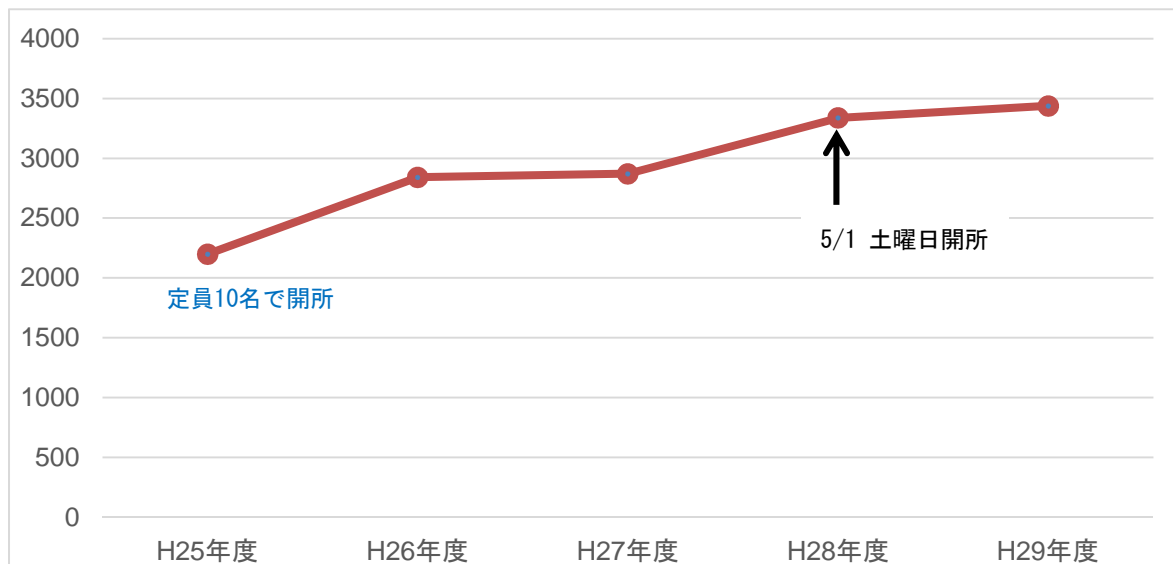


表 1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
H25年度	69	104	129	220	295	173	190	185	227	202	185	219	2,198	183.2
H26年度	244	244	230	254	238	240	244	213	266	214	209	244	2,840	236.7
H27年度	230	189	219	250	275	224	238	227	281	248	244	245	2,870	239.2
H28年度	240	266	268	294	343	264	283	281	301	258	242	297	3,337	278.1
H29年度	261	278	275	303	312	291	290	275	309	258	269	316	3,437	286.4

(2) 登録利用児の概要(平成 30 年 3 月 31 日現在)

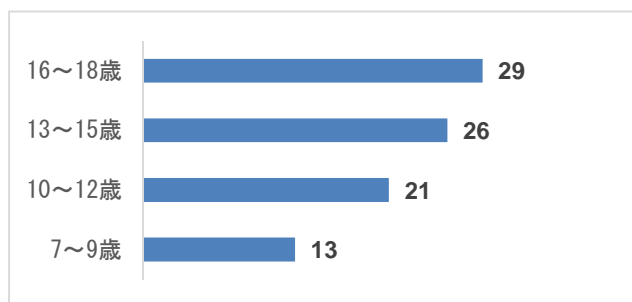
①男女比

表 2

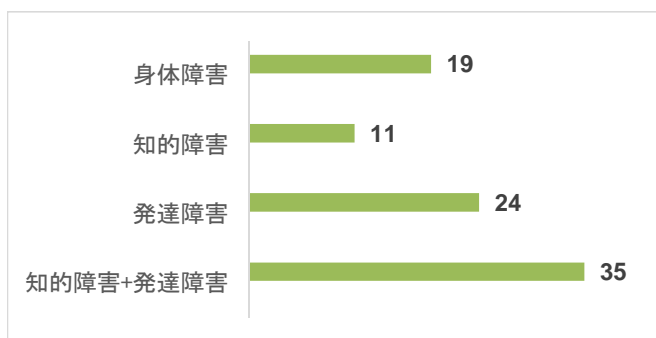
男	59
女	30
計	89

②登録 89 名の年齢層

グラフ 2



③登録 89 名の障害種別



④登録 89 名の平均年齢 13 歳

(3) 新規・終了利用児の概要

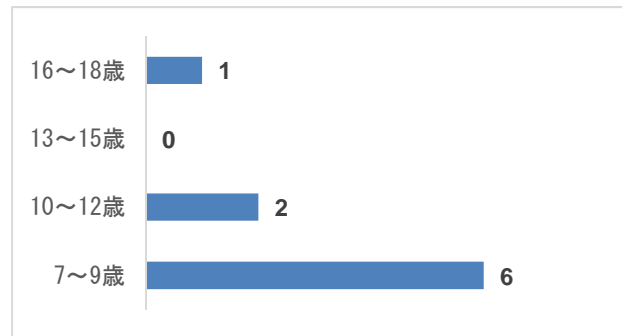
① 新規利用児 9 名の男女比

表 3

男	6
女	3
合計	9

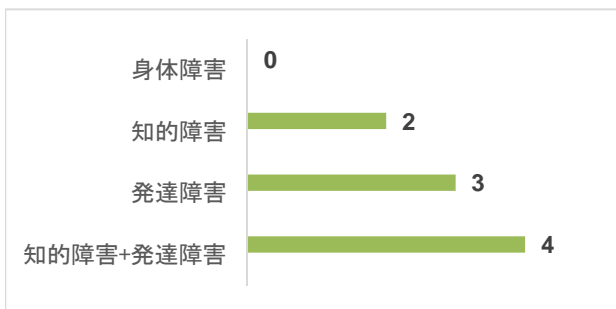
② 新規利用児 9 名の年齢層

グラフ 4



③ 新規利用児 9 名の障害種別

グラフ 5



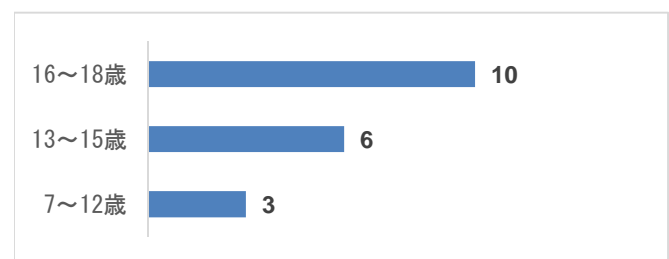
④ 終了児 19 名の男女比

表 4

男	12
女	7
計	19

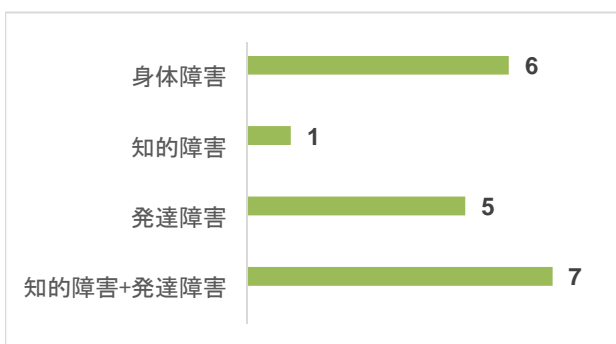
⑤ 終了児 19 名の年齢層

グラフ 6



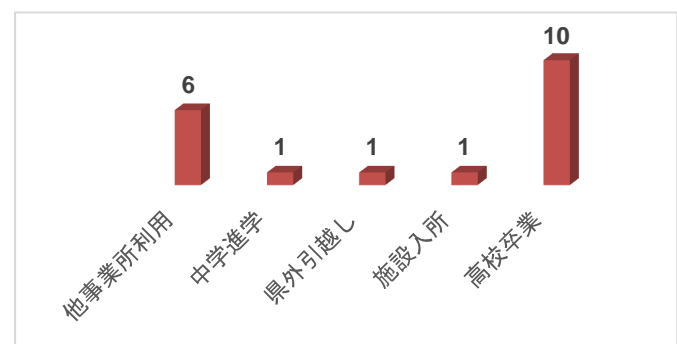
⑥ 終了児 19 名の障害種別

グラフ 7



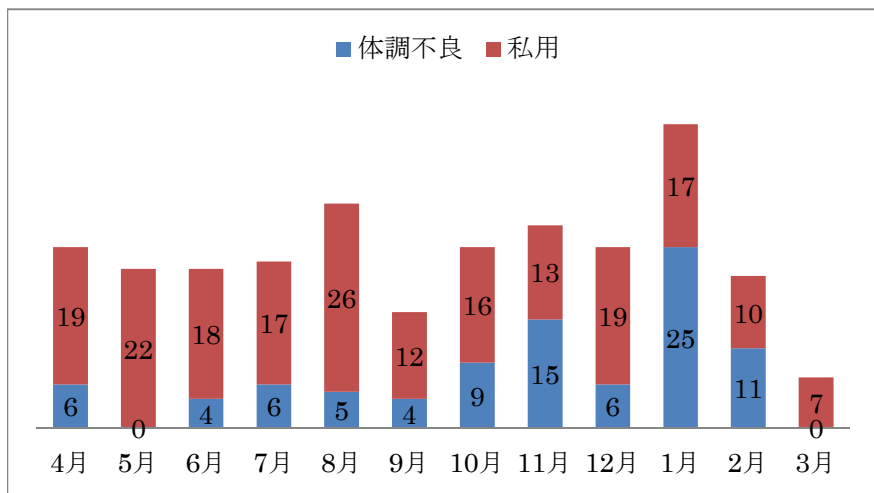
⑦ 終了児 19 名の終了理由

グラフ 8



■ 登録者数について

平成 25 年度より開所し、登録者数が 89 名となりましたが、これまでの 4 年間に一度も利用がない方が 17 名おられ今後の利用に関する意向確認を行いました。グラフ 8 にありますように、他事業所利用で確定している方や高等部卒業の方で登録障害児数は 70 名となりました。



2. 支援プログラム

表5

プログラム(遊び)	内容
1 室内遊び	積み木、プラレール、ゲーム(Wii)、DVD鑑賞、音楽遊び、読書、パズル、ジェンカ、折り紙、ブロック、制作活動(1回/月) 音楽療法(2回/月)——講師委託
2 室内レク	風船バレー、背中文字当て遊び、トランプ、バランスボール、クイズ大会、人生ゲーム、室内ドッジボール
3 野外活動	散歩、サッカー、長縄遊び、マラソン、リレー大会、野球、バドミントン、キャッチボール、園芸活動、長縄跳び
4 学習支援	宿題、課題プリント、知育玩具
5 スポーツセンター	トランポリン、ロッククライミング、運動会、プール、自転車、ハンドサイクル、野球、二人乗り自転車、草引き
6 長期休暇のイベント	<p><春休み></p> <p>親子卓球バレー大会</p> <p>社会科見学(まほろばセンター、自衛隊)</p> <p>障害者スポーツセンター出前教室(トランポリン、ボルダリング)</p> <p>ボーリング</p> <p>遠足(野市動物公園)</p> <p>お花見</p> <p>防災訓練</p> <p><夏休み></p> <p>プール活動(イベント日以外の火曜～金曜日で実施)</p> <p>園芸活動(なす、トマトの収穫)</p> <p>社会科見学(ひまわり乳業)</p> <p>買い物体験(イオン高知、岡崎牧場)</p> <p>カラオケ</p> <p>他事業所合同運動会</p>

		<p>〈冬休み〉</p> <p>避難訓練</p> <p>クリスマス会</p> <p>餅つき</p> <p>大掃除</p> <p>初詣（潮江天満宮）</p> <p>障害者スポーツセンター出前教室（トランポリン、ボルダリング）</p> <p>紙すき体験（伊野町紙の博物館）</p> <p>〈土曜日・休業日〉</p> <p>飛行機見学（高知龍馬空港）</p> <p>高知市中央公園のイベント参加</p> <p>ドライブ（宇佐、日高、五台山 等）</p> <p>足湯体験（宇佐）</p> <p>季節の花の見学（南国市、春野町）</p>
7	その他の取り組み	<p>○高等部対象の就労学習（10月毎週水曜日 全4回）</p> <p>・挨拶の練習、部屋への入退室の学習、実践、名刺交換 等</p>

3. ボランティア

表 6

学校名	人数	参加日数
小津高校	1名	1日
須崎高校	1名	1日
高知学園短期大学	2名	1日
近森看護学校	3名	2日
高知リハビリテーション学院	4名	6日
土佐リハビリテーション学院	8名	7日
平成福祉専門学校	6名	12日
高知福祉専門学校	17名	13日
計	42名	43日

4. 保護者との連携、関わり

- 連絡ノート-----毎日の報告、伝達
- キュール通信---毎月の発行(児童のキュールでの様子、お知らせ等)
- 茶話会-----2日間で3回の開催(キュール職員、センター長)

<p>日程：平成 29 年 1 月 19 日（2 回）、24 日（1 回）</p> <p>場所：高知ハビリテーリングセンター会議室</p> <p>内容：1. 自己紹介 2. キュール紹介（パワポ） 3. 平成 30 年度からの新体制について 4. 高知ハビリテーリングセンター事業説明 5. 質疑応答、意見交換</p> <p>参加者総数：17 名</p>
<p>【保護者の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今まで土曜日など 15 時までだったのが、利用時間が延びて 17 時までと長くなるのはとても助かります。 ・ 放デイと学校の先生での支援に対する意識差があります。高等部のグループイベントなどなら参加も出来るのではないかと感じ、参加をさせてあげたい。 ・ 重度の児童ほど卒業後の場所の確保は難しく感じます。 ・ ショートステイをととても楽しみにしています。おやつを返しに行く際にみる食事がとても美味しそうだと本人がいつも言っている。 ・ 比較的長期の利用だけだったが、放課後の利用も行うことで、身の回りの準備や児童との関わりを自身から行えるようになり、さらには全体など大勢の前で 1 分間スピーチなど積極的におこなえるようになりました。 ・ 制作活動を行っているようだが、持って帰ってきたことが無いのですが？ → 月 1 週の内容であるため、難しい点や活動を促すが参加が難しいことを伝える。 ・ 障害云々の前に生活の基盤としてのどういったことが必要になるかなどが一番重要ではないか。子どもの将来について何が必要で、何のために就労を行うのか？
<p>【ご意見や要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐市への送迎についても、可能であるなら途中まででも送っていただきたい。 ・ 聞いてみたい講演内容としては「知的の事を詳しく聞きたい・発語について・自身の表現方法についてなど」 ・ 忘れ物や注意力が少し散漫なため、支援を行ってほしい。 ・ 展開して欲しいイベントとして、お使い、買い物体験 ・ トイレに荷物を掛ける為のフックが無いのが少し不便。衛生的に掛ける方が望ましいので準備をお願いします。 ・ スケジュールを見た際に楽しい行事など参加をさせたいが、曜日固定が基本のため、参加が難しく感じる。 ・ 施設入所が満床と言うことだが、どれほど前から相談を行うことが望ましいか？ ・ 卒業後は通所介護の利用を計画しているが、ショートステイの登録を希望しているがなかなか見つからず難しい。 ・ 卒業後の進路については保護者が主体では有るが、なかなか情報収集や共有が行えない状態。 ・ イベントに参加をさせたいが、家族行事などで参加を行うことが難しい。

平成 29 年度 高知ハビリテーリングセンター
 特定・一般・障害児相談支援事業報告

《特定相談支援事業所》

1. 利用者推移（平成 30 年 3 月末時点）

表 1

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
新規	2		5	2	2	1	3	2	3	2	1	6
終了	1	4	1	1	4	3	3	3	3		1	2
累計	145	141	145	146	144	142	142	141	141	143	143	147
更新・変更	5	15	11	12	13	11	9	7	11	7	14	10
モニタリング	19	14	16	23	34	29	15	20	23	26	27	25

2. 市町村別 契約利用者数（平成 30 年 3 月末時点）

表 2

市町村	高知市	南国市	香美市	土佐市	室戸市	香南市	安芸市	土佐清水市	大月町	本山町	いの町	大豊町	中土佐町	佐川町	田野町	安田町	津野町	仁淀川町	黒潮町	土佐町	香芝市
人数	99	8	3	5	3	1	2	2	1	1	9	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1
加算											8										

3. 事業別利用者数（平成 29 年 3 月末時点）表 3

事業名	利用者数
機能訓練	19
生活訓練	8
生活介護	7
就労移行支援	9
就労継続支援 B 型	73
短期入所	18
ハビリ以外のサービス	13
計	147

《障害児相談支援事業所》

1. 利用者推移（平成 29 年 3 月末時点）

表 4

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
新規												
終了												
累計												
更新・変更	5	5	2	3	2	6	0	3	3	4	7	0
モニタリング	1	4	5	4	4	1	5	5	5	1	3	5

2. 市町村別 契約利用者数（平成 29 年 3 月末時点）

表 5

市町村	高知市	南国市	香美市	香南市	安芸市	室戸市	土佐清水市	土佐市	中土佐町	佐川町	いの町	田野町	大豊町	安田町	津野町	仁淀川町	黒潮町	香芝市
人数	38							2										

《一般相談支援事業所》

表 6

地域移行支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数			1	3	3	3	3	3	3	1	2	2	24
終了者				1		1	1		2	1	1	1	8

表 7

地域定着支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数													0
終了者													0

平成 29 年度 高次脳機能障害支援拠点委託事業
「高次脳機能障害相談支援センター」事業報告

1. 活動報告

表 1

開催月日	活 動 内 容
5月 12日	神経心理学勉強会
6月 28日	平成 29 年度 第 1 回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 平成 29 年度 第 1 回支援コーディネーター全国会議
29-30日	平成 29 年度 高次脳機能障害支援普及事業関係職員研修会
30日	子どもの高次脳機能障害支援委員会設立に向けた勉強会
7月 9日	高知県高次脳機能障害研修会（応用編） 支援拠点機関職員研修会 中島教室 I
8月 4日	高次脳機能障害者支援地域研修会（中央東ブロック）
6日	平成 29 年度 子どもたちの高次脳機能障害—子どもの脳と発達—
8日	高次脳機能障害者支援地域研修会（高知ブロック）
18日	神経心理学勉強会
19日	高次脳機能障害者支援地域研修会（幡多ブロック）
25日	高次脳機能障害者支援地域研修会（安芸ブロック）
26日	平成 29 年度環瀬戸内ネットワーク会議 平成 29 年度愛媛県高次脳機能障害支援拠点講習会
9月 1日	高次脳機能障害者支援地域研修会（中央西ブロック）
8日	高次脳機能障害者支援地域研修会（須崎ブロック）
10月 12-13日	第 41 回 日本神経心理学会学術集会
20-21日	日本脳外傷友の会 第 17 回全国大会 2017in ぎふ
11月 9-10日	身体障害者リハビリテーション研究集会 2017
11日	平成 29 年度 高次脳機能障害者支援研修会（医師対象）
17日	神経心理学勉強会
19-20日	先進県視察（ハイリハキッズ・千葉リハビリテーションセンター）
12月 2日	平成 29 年度高次脳機能障害支援普及事業 四国ブロック会議 子どもたちの高次脳機能障害研修会
15-16日	第 41 回 日本高次脳機能障害学会学術総会
1月 20-21日	高次脳機能障害リハビリテーション講習会 2017 高知
31日	平成 29 年度障害福祉関係者のための高次脳機能障害者支援研修会（安芸ブロック）
2月 7日	平成 29 年度障害福祉関係者のための高次脳機能障害者支援研修会（高知ブロック）
15日	平成 29 年度 第 2 回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会 平成 29 年度 第 2 回支援コーディネーター全国会議
3月 3日	支援拠点機関職員研修会 中島教室 II

2. 研修会

【施設内研修】

・神経心理学勉強会

開催場所：高知ハビリテーリングセンター

内 容：高次脳機能障害相談支援センター 岩崎由利恵

1回目 平成29年5月12日 「脳の構造と発達」 参加者：2名

2回目 平成29年8月18日 「脳の発達と機能」 参加者：12名

3回目 平成29年11月17日 「脳画像と神経心理学的検査」 参加者：4名

※4回目 平成30年2月9日 「高次脳機能障害者のグループ訓練（ロールプレイ）」は参加予定者欠席の為、中止。

・子どもの高次脳機能障害支援委員会設立に向けた勉強会

開催日時：平成29年6月30日 18：30～20：00

開催場所：高知ハビリテーリングセンター

内 容：高次脳機能障害相談支援センター 岩崎由利恵「脳ってどんな臓器？」

参加者数：5名（教育関係者）

・高知県高次脳機能障害研修会（応用編）／支援拠点機関職員研修会

開催日時：平成29年7月9日 9：30～14：30

開催場所：高知県立大学 池キャンパス

内 容：帝京平成大学大学院 中島恵子「高次脳機能障害者のアセスメントと支援」

参加者数：6名（福祉関係職員）、24名（高知ハビリテーリングセンター）

【施設外研修】

・平成29年度 子どもたちの高次脳機能障害—子どもの脳と発達—

開催日時：平成29年8月6日 9：30～14：30

開催場所：高知県立ふくし交流プラザ

内 容：帝京平成大学大学院 中島恵子「子どもの発達、小児の高次脳機能障害の理解と対応」

参加者数：98名（学校、幼稚保育、福祉医療関係者など）

・子どもたちの高次脳機能障害研修会

開催日時：平成29年12月2日 13：00～16：10

開催場所：高知県立大学 池キャンパス

内 容：高次脳機能障害相談支援センター 岩崎由利恵「知っていますか？あの子の高次脳機能障害」
当事者、家族、支援者『新しい私を生きるということ』

参加者数：71名（学校、幼稚保育、福祉医療関係者、当事者家族など）

・高次脳機能障害リハビリテーション講習会 2017in 高知

開催日時：平成30年1月20日、21日 13：00～16：10

開催場所：20日 高知大学朝倉キャンパスメディアの森メディアホール

21日 四万十市社会福祉センター

内 容：南国中央病院 宮本寛「高次脳機能障害について」

別府リハビリテーションセンター 野村心「社会的行動障害へのリハビリテーション」

参加者数：193名（当事者家族、一般、医療関係者、介護障害福祉サービスなど）

3. 家族教室

表 2

回数	内 容	土曜開催日	参加者数	日曜開催日	参加者数
第1回目	「記憶障害」ってなあに？	5月20日	8名	5月28日	4名
第2回目	記憶はどんな機能？Ⅰ	6月17日	5名	6月25日	4名
第3回目	記憶はどんな機能？Ⅱ	7月15日	2名	7月16日	3名
第4回目	記憶はどんな機能？Ⅲ	8月26日	1名	8月27日	3名
第5回目	記憶障害と疲れやすさ	9月16日	3名	10月1日	4名
第6回目	記憶障害と注意障害	10月28日	4名	10月29日	3名
第7回目	記憶障害と前頭葉障害	11月18日	2名	11月26日	4名
第8回目	記憶障害と私	12月9日	3名	12月24日	5名
第9回目	日常が認知リハⅠ —機能改善に向けて—	1月27日	3名	1月28日	5名
第10回目	日常が認知リハⅡ —予測に向けて—	2月17日	2名	2月25日	5名

4. 小児高次脳機能障害家族会（土曜日 13:30～15:00）

表 3

回数	日付	内容	参加者数
第1回目	7月15日	29年度の子ども支援の計画について	家族：2名 当事者：2名 支援者：2名
第2回目	10月28日	進路について	家族：2名 当事者：2名 支援者：2名
第3回目	1月27日	ハイリハキッズ視察報告	家族：2名 当事者：2名 支援者：3名
第4回目	3月17日	合同でゲーム、職員紹介等	家族：2名 当事者：2名 支援者：5名

5. 相談支援（支援コーディネーター）延べ件数

表 4

	面接	電話	訪問・同行	メール・書簡	カンファレンス	合計	うち新規
4月	1件	22件	1件	2件	0件	26件	7件
5月	2件	7件	0件	0件	0件	9件	3件
6月	2件	7件	0件	1件	0件	10件	5件
7月	0件	6件	0件	1件	0件	7件	3件
8月	4件	12件	0件	0件	0件	16件	7件
9月	6件	23件	0件	0件	0件	29件	3件
10月	3件	17件	0件	0件	0件	20件	1件
11月	2件	31件	2件	5件	1件	41件	7件
12月	2件	27件	1件	1件	0件	31件	1件
1月	2件	42件	2件	4件	2件	52件	4件
2月	5件	29件	0件	2件	0件	36件	9件
3月	3件	38件	1件	8件	0件	50件	1件
合計	32件	261件	7件	24件	3件	327件	51件

6. 医療相談(臨床心理士)

表 5

	電話	面接	訪問・同行	検査等	メール・書簡	カンファレンス	合計	うち新規
4月	24件	11件	1件	0件	4件	0件	40件	11件
5月	35件	10件	0件	1件	4件	0件	50件	5件
6月	26件	10件	0件	0件	3件	0件	39件	6件
7月	10件	6件	0件	0件	7件	1件	24件	3件
8月	7件	9件	0件	0件	0件	0件	16件	3件
9月	12件	10件	0件	0件	4件	0件	26件	2件
10月	5件	15件	0件	0件	2件	0件	22件	2件
11月	15件	15件	1件	0件	1件	0件	32件	4件
12月	37件	15件	0件	1件	0件	0件	53件	1件
1月	38件	9件	0件	0件	0件	0件	47件	2件
2月	36件	19件	0件	0件	1件	0件	56件	4件
3月	6件	9件	1件	0件	0件	0件	16件	0件
合計	251件	138件	3件	2件	26件	1件	421件	43件

7. 広報、啓発活動

- ・子どもの高次脳機能障害ガイドブック 300部作成

- ・パスシート(参照資料①)

※社会資源マップと同様にホームページよりダウンロード可能

以下の三研修会につきましては、県と協同によるものです。

- 高次脳機能障害者支援地域研修会(6ヶ所)

- 医師向け研修会(1ヶ所)

- 障害福祉関係者のための高次脳機能障害者支援研修会(3ヶ所)

8. 高次脳機能障害者支援地域研修会(6ヶ所)の概要

① 開催日時等・参加者数

【安芸ブロック】

開催日時：平成29年8月25日(金) 18:30～20:30

会場：安芸福祉保健所(安芸総合庁舎)2階会議室

参加者数：30名

【中央東ブロック】

開催日時：平成29年8月4日(金) 18:30～20:30

会場：南国市保健福祉センター2階多目的ホール

参加者数：57名

【高知ブロック】

開催日時：平成29年8月8日(火) 19:00～21:00

会場：高知市保健福祉センター 3階大会議室

参加者数：67名

【中央西ブロック】

開催日時：平成29年9月1日（金）19:00～21:00

会場：いの町総合保健福祉センター（すこやかセンター伊野）大会議室

参加者数：44名

【須崎ブロック】

開催日時：平成29年9月8日（金）19:00～21:00

会場：医療法人南江会 一陽病院 5階娯楽室

参加者数：35名

【幡多ブロック】

開催日時：平成29年8月19日（土）15:00～17:00

会場：四万十市社会福祉センター 大会議室

参加者数：39名

参加者合計：272名

② 研修内容

『多職種の視点から高次脳機能障害を解き明かす』

進行：高次脳機能障害相談支援センター 支援コーディネーター

説明者：南国中央病院 副院長 宮本 寛氏

登壇者：保健師（各福祉保健所健康障害課・高知市障がい福祉課）

作業療法士（高知県作業療法士会）

医療ソーシャルワーカー（高知県医療ソーシャルワーカー協会）

質疑応答

③ 職種別参加者内訳

表6

職 種	安芸	中央東	高知	中央西	須崎
① 医師	0	1	4	1	0
② 看護師	2	11	7	9	10
③ 保健師	1	0	0	2	2
④ 薬剤師	0	0	1	0	0
⑤ 理学療法士	0	5	1	1	2
⑥ 作業療法士	3	5	3	1	3
⑦ 言語聴覚士	1	0	0	0	2
⑧ 心理士	0	1	2	1	0
⑨ 栄養士	1	0	0	0	0
⑩ 介護支援専門員	7	10	11	5	3
⑪ 介護職	11	8	9	7	3
⑫ 相談支援専門員	1	3	1	7	1
⑬ 管理者・サビ管等	1	4	1	1	1
⑭ 支援員	0	5	9	8	7
⑮ ソーシャルワーカー	0	1	7	0	1
⑯ 教員	0	0	2	0	0

⑰ 保育士	0	0	1	0	0
⑱ 事務職	0	0	3	0	0
⑲ その他	2	3	5	1	0
合 計	30	57	67	44	35

9. 医師向け研修会(1ヶ所)の概要

① 開催日時等・参加者数

平成 29 年 11 月 11 日(土) 15:30-17:30

高知県立ふくし交流プラザ

参加者数 7 名

② 研修内容

高次脳機能障害の診断の流れと体制について

講師：南国中央病院 副院長 宮本 寛氏

高次脳機能障害における精神科の役割について

講師：南国病院 院長 中澤 宏之氏

質疑応答

10. 障害福祉関係者のための高次脳機能障害者支援研修会(3ヶ所)の概要

① 開催日時等・参加者数

【安芸会場】

開催日時：平成 30 年 1 月 31 日(水) 14:00～16:30

会場：安芸福祉保健所(安芸総合庁舎) 2 階会議室

参加者数：11 名

【高知会場】

開催日時：平成 30 年 2 月 7 日(水) 14:00～16:30

会場：高知県教育センター本館 3 階大研修室

参加者数：46 名

【幡多会場】

開催日時：平成 30 年 3 月 7 日(水) 14:30～17:00

会場：四万十市社会福祉センター 大会議室

参加者数：27 名

参加者合計：84 名

② 研修内容

i 「高次脳機能障害への対応について」

講師：南国中央病院 副院長 宮本 寛氏

ii 「高次脳機能障害の各種パスシートについて」

講師：高次脳機能障害相談支援センター 臨床心理士 岩崎 由利恵氏

iii 「各機能障害について（ロール・プレイング）」

支援員役：高次脳機能障害相談支援センター主任支援コーディネーター 久武 稔幸氏

当事者役：高知県地域福祉部障害保健福祉課 主査 森光 将志

iv 質疑応答

平成 29 年度 若年性認知症就労支援ネットワーク推進事業
若年性認知症サポートセンター(就労)

1. 活動実績

表 1

	従事日	旅費計上日	電話相談	訪問等
9 月	10	3	0	6
10 月	15	2	0	15
11 月	15	1	1	16
12 月	15	1	1	24
1 月	15	0	2	18
2 月	15	0	1	9
3 月	15	1	0	8
延べ日数 および件数	100	8	5	96

表 2

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
9 月	0	0	0	3	1	0	0	4
10 月	0	0	0	9	0	0	0	2
11 月	8	1	0	7	1	1	0	3
12 月	2	1	1	7	2	1	3	2
1 月	3	0	0	7	4	0	0	2
2 月	0	0	0	3	0	1	1	2
3 月	0	0	3	4	0	4	0	4
件数	13 件	2 件	4 件	40 件	8 件	7 件	4 件	19 件

分類番号

- ① 就労継続に向けた勤務先等との調整に関する支援
- ② 職場実習等の受入れが可能な事業所や企業等とのコーディネート
- ③ 事業所や企業等における受け入れ態勢(環境)の構築等に関する支援
- ④ 相談窓口業務及び設置に関する業務
- ⑤ 高知県若年性認知症支援コーディネーターとの連携による関係機関とのチーム支援(ケース会議を含む)及び同行支援
- ⑥ 高知県が主催する若年性認知症に関する症例検討会、事例検討会及び普及啓発セミナー等への協力
- ⑦ その他、精神保健手帳等、様々な制度やサービスの周知及び関係機関とのコーディネート等
- ⑧ 上記①から⑦までに定める事項以外において、高知県の指示により実施する業務

平成 29 年度については、高知大学病院の支援コーディネーターと広報活動に同行、県障害保健福祉課からの発信で研修会や出張が主となり、高知県内外の認知症に関するネットワークやシステム、および家族の会等の把握や県外の先進的な取り組みについての情報収集に努めました。

2. 広報活動

表 3

月日	件数	概要	備考
9月22日	3	障害者就業・生活支援センター「こうばん」、須崎市地域包括支援センター、一陽病院（認知症医療疾患センター）	須崎市
9月28日	1	鏡川病院	高知市
9月29日	2	相談支援センター「オリーブ支援センター」、相談支援センター「プーさん」	高知市
10月3日	2	なかぼつとの意見交換会、認知症と家族の会（コールセンター）	高知市
10月17日	5	内田脳神経外科、障害者就業・生活支援センターシャイン（所長）、就労継続支援B型事業所さずな、西部高齢者支援センター（旭出張所、鴨部）、福祉交流プラザ（権利擁護センター田内殿）	高知市
10月19日	4	認知症カフェに参加、難病相談支援センター、北部高齢者支援センター、障害者相談センター西部	高知市
10月20日	1	障害者相談センター南部	高知市
10月27日	1	南部地域ケアカンファレンス（総合あんしんセンター）への出席	高知市
10月28日	1	認知症疾患医療センター連絡協議会（高知大学病院）への出席	高知市
10月31日	2	こうち在宅支援ネットワーク（ケアマネ連絡協議会事務局）、東部地域包括支援センター	高知市
11月6日	2	広場そよかぜ、てくとこ瀬戸	高知市
11月8日	1	西部高齢者支援センターでのケアマネ連絡会（定例会）、地域定着支援センタースタッフ	高知市
11月21日	4	南国市地域包括支援センター連絡協議会に出席、南国病院、南国中央病院	南国市
11月24日	1	認知症コールセンター相談員向け研修会に出席	高知市
12月1日	1	障害者相談センター北部	高知市
12月5日	1	県障害保健福祉課にてテレビ高知取材対応	高知市
12月13日	10	すこやかな杜、高知西病院、細木病院、細木ユニティ病院、近森病院、近森リハビリテーション病院、近森総合心療センター、近森オルソリハビリテーション病院、日赤病院、いずみの病院 テレビ高知の取材対応	高知市
12月15日	2	高知産業保健総合支援センター、こうち男女共同参画センター「ソーレ」にて認知症家族の会12月のつどい出席、発表	高知市
12月18日	3	高知医療センター、高知大学附属病院、南国中央病院	高知市 南国市
12月19日		NPO法人「ありがとう」高知ハビリテリングセンターに訪問	
1月10日	2	高知ハーモニーホスピタル、土佐病院	高知市
1月17日	4	ハローワーク（高知市）、障害者職業センター（高知市）、香美市地域包括支援センター、香南市地域包括支援センター	高知市 香美市 香南市
1月23日	1	高知市地域高齢者支援センター担当者会（あんしんセンター）事業紹介	高知市

1月25日	2	平成29年度第2回障害者就業・生活支援センター「ゆうあい」連絡（プラザ八王子・香美市）にて事業紹介、中央東福祉保健所（香美市）	香美市
1月31日	2	相談支援事業所「せいわ」、相談支援センター「さかわ」	佐川町
2月22日	4	相談支援センターあななう（香美市）、地域活動支援センター「香美」、芸西村社会福祉協議会相談支援事業所、障害者相談支援センターあき（安芸市）	香美市 芸西村 安芸市
2月26日	1	障害者職業能力開発情報交換会に出席、事業紹介	高知市
3月13日	1	いずみの病院	高知市
3月19日	1	(株)SEGに認知症サポーター養成講座、若年性認知症の概要説明	南国市
3月29日	2	下司病院、田中整形外科	高知市
3月30日		地域交流委員会（高知ハビリテーションセンター）で事業紹介	
計	67		

3. 出張

月日	出張研修会	開催地
9月25-26日	平成29年度若年性認知症支援コーディネーターフォローアップ研修プログラム	東京都
3月1日	若年性認知症の人の支援を考えるセミナー -就労継続からの生きがいづくり-	東京都

4. 主な相談内容

- ・一般就労の継続支援に関するもの
- ・福祉就労の利用に関するもの
- ・支援コーディネーターの役割に関するもの
- ・若年性認知症の診断や鑑別に関するもの

5. 支援コーディネーターが把握している

若年性認知症の人数(平成30年3月末現在)

表4

10代	0
20代	0
30代	0
40代	1
50代	1
60代	2

平成 29 年度 高知ハビリテーリングセンター(全体)報告

1. 利用者行事(文化・芸術活動、スポーツ活動参加等)

表 1

月 日	行 事
4 月 6 日	はるのお食事会
5 月 11・23 日	自立訓練・生活介護遠足
5 月 28 日	高知県障害者スポーツ大会
7 月 1 日	アビリンピック
7 月 23 日	頭脳スポーツ大会
7 月 27 日	文月祭
7 月 25 日	消防訓練
8 月 10・11 日	よさこい鳴子踊り観賞
9 月 21 日	障害者雇用合同面接会
10 月 6~15 日	スピリットアート展
10 月 9 日	すこやか春野ふれあい交流会
10 月 12・13 日	消防訓練
10 月 21 日	ハビリ地域フェスティバル ⇒ 中止
10 月 28 日	近森保育ソルト園児芋ほり・交流会 就労移行遠足
11 月 3 日	春野町文化祭 B 型親睦会(バーベキュー)
11 月 6 日	丑ノ助学園児芋ほり・交流会
12 月 22 日	クリスマスお食事会・まぐろ解体ショー
12 月 28 日	餅つき
12 月 29 日	お楽しみ忘年会(カラオケ・海鮮丼)、B 型納会
3 月 22・26 日	消防訓練

2. 健康・栄養部の活動内容

表 2

頻度 \ 部 署	毎日	毎週	毎月	年間
自立訓練部	体調管理全般 【身体】	調理訓練(栄)	・ケース会 ・グループ訓練 (栄・看)	外出訓練
就労支援 B 型	血圧・体重測定 処置等(看)		ケース会(看)	
生活支援部		入浴支援(看)		
居宅部	【服薬管理】		世話人会(栄)	
児童支援部	配薬・服薬指導 (看) 【栄養】 食事全般(栄・看)			・長期休業日(栄) (食事介助・食事 パントに参加)

3. 利用者の健康管理(看護師)

(1)健康診断実施状況

ア) 施設入所者：H29年11月2～15日 (6日間) 29名

*健康診断項目：胸部X-P・心電図(40歳以上)・血液検査・検尿検査・視力検査・聴力検査・
血圧測定・腹囲測定・体重測定・医師より検査結果の説明と診察

イ) 施設入所者(生活介護)：H29年4月10日 7名

(自立訓練)：H29年9月25日 14名

*健康診断項目：医師の問診と診察・血圧測定・体重測定・腹囲測定

ウ) 就労継続B型利用者：H29年5月・6月・7月 56名

*健康診断項目：医師の問診と診察・血圧測定・体重測定

(2)平成28年度より健康管理手帳を使用していますが、健康に関する意識は徐々に上がってきています。自立訓練や施設入所の利用者だけでなく就労移行や就労継続B型の利用者も年々血圧測定に来られる方の頻度が増加しています。施設全体では土・日・祭日以外の毎日60～70名血圧測定をされており年間平均64名でした。健康管理手帳には、血圧値・排泄状況・体重に内服薬の服用状況も記入できるようにしています。

(3)内服薬管理状況(平成30年3月末現在)

ア) 施設入所利用者

- ・全面的に職員管理している利用者：15名
- ・食堂で1週間分の管理している利用者：3名
- ・自室で1週間分渡しでの管理している利用者：9名

イ) はるのハビリホーム入所者

- ・1週間分渡しで管理している利用者：7名
- ・毎週1回インスリン注射施行している利用者：1名

(4)処置

- ・透析後の針刺入部の観察
- ・自己導尿の指導
- ・便だし介助
- ・皮膚の観察と軟膏塗布
- ・爪切り
- ・耳垢除去
- ・OPE後の創処置

(5)その他

ア) インフルエンザ罹患者：22名

- ・施設入居者：14名
- ・ハビリホーム利用者：1名
- ・キュール：7名

イ) 救急車要請：2回

4. 利用者の栄養管理(管理栄養士)

◎健康管理手帳の配布：利用者自身が身体状況をセルフチェックする（血圧・体重・服薬・排便の有無）

◎グループ訓練：自立訓練（機能訓練・生活訓練）の利用者を対象に、毎月「健康」をテーマにした内容でグループワークを行なった。

（例）生活習慣病（血圧、食事、間食等）、排便コントロール、服薬、睡眠、喫煙・飲酒、口腔ケアなど

◆療養食提供状況◆

表 3

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
食数	319	330	328	387	391	308	336	372	387	383	364	426

※食種内訳：脳血管疾患（塩分制限食）38%、糖尿病食：33%、脂質異常症食：13%、腎臓病食：11%、肝臓病食（代償期）：5%

◆提供メニュー◆ (参照資料②)

【4月】ゴーゴーカレー

【5月】こいのぼりケーキ（キュール）、味噌カツ丼、山かけ丼

【6月】ぶっかけうどん+天ぷら、ハンバーガー

【7月】冷やし中華、文月祭バイキング

【8月】夏野菜カレー、ロコモコ丼

【9月】ダブルマーボー丼

【10月】吉野家の牛丼、オムソバ

【11月】チキン南蛮カレー、カツオのたたき丼、天ぷらそば

【12月】長崎ちゃんぽん、クリスマス会バイキング

【1月】正月おせち、鏡開き、七草粥、タレかつ丼

【2月】節分メニュー、バレンタインデザート、山形名物から味噌ラーメン

【3月】ひなまつり（ちらし寿司）、ばくだん丼

※10月～5月：お刺し身を提供、毎月1回「骨ありの魚」を継続して提供

◆食事アンケートの結果◆

【朝食】(量) 多い7%、ちょうどよい66%、少ない27% (温度) 温かい22%、普通64%、冷めている14%

【昼食】(量) 多い11%、ちょうどよい75%、少ない14%(温度) 温かい18%、普通69%、冷めている13%

【夕食】(量) 多い9%、ちょうどよい76%、少ない15% (温度) 温かい10%、普通75%、冷めている15%

(盛り付け) よい41%、普通50%、悪い9%、(味付け) よい30%、普通65%、悪い9%、

(食事の満足度) 満足64%、満足していない14%、どちらでもない22%

5. 職員の安全衛生管理

① 産業医による職場巡視 12回（毎月第3木曜日）

*指摘された環境改善事項は、各部署で其のつど対応し改善

② 衛生管理者の2週間に1回の職場巡視

③ 近森会グループの安全衛生委員会出席（月1回）

④ 職員健康診断状況について（100%実施）

⑤ ストレスチェック実施：実施医療機関 近森病院

⑥ 職員のインフルエンザ予防接種実施者：近森病院 43名（61%）

※その他医療機関で実施した職員あり

※職員のインフルエンザ罹患者：13名（平成29年12月～平成30年3月末まで）

6. 職員の委員会活動

表 4

委員会名	職員数	活 動 内 容
感染委員会	7名	ペーパータオル、ハンドソープ等の在庫管理、発注
システム委員会	6名	システムの不具合状況を日々確認
災害対策委員会	7名	災害マニュアル作成、県に提出
図書委員会	4名	本、DVDの貸し出し確認、新刊の検討、購入
スポーツ委員会	6名	利用者対象もしくは職員のスポーツ大会の連絡調整
行事委員会	9名	季節行事や地域住民との交流行事企画、運営、地域行事参加、情報提供
広報委員会	5名	法人広報誌「ふくらむ」の発行、HP作成準備
		利用者に写真の提供(注文表等)
高次脳機能障害支援委員会	3名	支援拠点業務をフォロー、高次脳機能障害支援について施設内職員のリーダーシップをとっていく知識を備える
地域交流委員会	3名	地元地域の委員構成の方々との交流企画、親睦を図る

※兼務あり

7. 職員会議

表 5

会議名		開催日	開催時間
職員会		毎朝	8:30-8:45
		毎夕	16:50-17:00
		第2火曜日	16:10-17:00
幹部会		毎週火曜日	14:00-15:00
業務改善委員会		毎週火曜日	9:30-11:30
利用一次判定会・支援会		随時	
各科会議	自立訓練	不定期	15:00-16:00
	就労移行	毎週木曜日	16:15-17:00
	就労B型	毎週金曜日	16:15-17:00
	施設入所	毎月1回(月末)	17:00-18:00
	世話人	毎月1回	9:00-10:00
	ソーシャルワーカー	毎週1回	9:00-10:00
プログラム検討会		毎月1回	16:00-17:00
スポーツセンターとの会		毎月1回	15:00-16:00

8. 管理部(用度)

①事故件数

4件(施設内・周辺事故 1件、車両関係事故 3件) ※保険対応1件含む

②施設・設備・備品等の破損件数

100件(施設内・周辺破損 95件、車両関係破損 5件)

③送迎関係の変遷（1日平均・平日）

表1

	平成27年度末 (28.3.31)	平成28年度末 (29.3.31)	平成29年度末 (30.3.31)
一般送迎利用者数 (登録含む)	53名	61名	53名
使用車両	5台	5台	6台
1日の運行回数 (一般送迎)	20回	22回	16回

9. 管理部(請求事務等)

①助成事業について

- ・高知県共同募金会「平成29年度NHK歳末たすけあい助成事業」
「年忘れお楽しみ会」の経費として利用者一人当たり900円の助成
平成29年度はキュールも合同で行い当日参加利用者見計119名が助成対象
・総事業費153,151円（内107,100円助成）

②生活習慣病予防健診及びがん検診受診（協会けんぽ）

近森健診以外に日赤にて生活習慣病予防健診（35歳以上）及びがん検診（20～38歳の偶数年齢の女性対象）を希望者が受診。受診件数は以下のとおり。

自費での受診となるが平成30年度も対象者には声掛けを行います

- ・生活習慣病予防健診 …6件
- ・がん検診（単独） …0件
- ・生活習慣病予防健診+がん検診 …2件

③福利厚生センター（ソウェルクラブ）利用実績（参照資料③）

平成29年度の利用実績を添付。

個人毎のサービスもいろいろあるので情報誌やホームページをチェックして積極的な活用を勧めます

10. 出張・研修

出張(一般)					
No.	日付	研修名	主催	開催地	参加人数
1	4/19	平成29年度 第1回中国・四国ブロック地区身体障害者更生施設長会議	広島県立障害者リハビリテーションセンター 障害者支援施設 あけぼの	香川県	1
2	8/3～8/4	全国社会福祉法人経営青年会 平成29年度研修企画事業 コーディングトレーニング講座	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人 経営青年会	東京都	2
3	8/4～8/5	精神・発達障害者就労定着支援フォーラムinおおさか	NPO法人 大阪精神障害者就労支援ネットワーク	大阪府	1
4	9/19～9/22	平成29年度 サービス管理責任者等指導者養成研修会	高知県障害保健福祉課	埼玉県	1
5	10/5	就業支援実践研修 発達障害コース	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	愛媛県	1
6	10/5～10/6	平成29年度 中国・四国ブロック地区身体障害者更生施設長会及び職員研修会	中国・四国ブロック地区身体障害者更生施設長会	広島県	4
7	11/8～11/10	平成29年度全国更生施設長会議総会 身体障害者リハビリテーション研究集会2017	全国身体障害者更生施設長会 全国身体障害者更生相談所長協議会 国立障害者リハビリテーションセンター	愛知県	2
8	11/8～11/10	身体障害者リハビリテーション研究集会2017	全国身体障害者更生施設長会 全国身体障害者更生相談所長協議会 国立障害者リハビリテーションセンター	愛知県	3
9	11/16～11/19	第37回アビリンピック全国障害者技能競技大会障害者ワークフェア2017	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 雇用開発推進部雇用推進課	栃木県	1
10	11/19～11/21	平成29年度高次脳機能障害支援拠点における先進地視察	ハイリハキッズ 千葉県立千葉リハビリテーションセンター	東京都 千葉県	2
11	12/9～12/10	就労支援フォーラムNIPPON2017	日本財団	東京都	1
12	12/14～12/16	第41回日本高次脳機能障害学会学術総会「わかりあうを科学する」	目白大学保健医療学部言語聴覚学科 ヒビノメディケアテクニカル(株)	埼玉県	1
13	3/13～3/15	2018年度障害福祉サービス報酬改定の詳細解説と地域共同社会の実現を目指す障害福祉サービスの将来 2018年度障害福祉サービス報酬改定の徹底解説と高品質&アウトカム重視の新时代対応の障害福祉事業戦略	保健・医療・福祉サービス研究会	東京都	1

出張(高次脳)					
No.	日付	研修名	主催	開催地	参加人数
1	6/27～7/1	平成29年度 第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会・第1回支援コーディネーター全国会議 平成29年度高次脳機能障害支援事業関係職員研修会	国立障害者リハビリテーションセンター	埼玉県	1
2	8/25～8/26	平成29年度 環瀬戸内ネットワーク会議 高次脳機能障害支援拠点機関講習会	松山リハビリテーション病院	愛媛県	1
3	10/12～10/14	第41回日本神経心理学会学術集会「流暢性の失語症学」	㈱コンベンションリンケージ	東京都	1
4	10/20～10/21	日本脳外傷友の会第17回全国大会2017inぎふ 平成29年度岐阜高次脳機能障がいフォーラム	NPO法人日本脳外傷友の会	岐阜県	1
5	11/8～11/10	身体障害者リハビリテーション研究集会2017	全国身体障害者更生施設長会 全国身体障害者更生相談所長協議会 国立障害者リハビリテーションセンター	愛知県	1
6	11/19～11/21	平成29年度高次脳機能障害支援拠点における先進地視察	ハイリハキッズ 千葉県立千葉リハビリテーションセンター	東京都 千葉県	1
7	12/14～12/16	第41回日本高次脳機能障害学会学術総会「わかりあうを科学する」	目白大学保健医療学部言語聴覚学科 ヒビノメディケアテクニカル(株)	埼玉県	1
8	2/15～2/16	平成29年度第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	国立障害者リハビリテーションセンター	東京都	1

出張(若年性)					
No.	日付	研修名	主催	開催地	参加人数
1	9/25～9/26	平成29年度 若年性認知症支援コーディネーターフォローアップ研修プログラム	認知症介護研究・研修大府センター	東京都	1
2	3/1	若年性認知症の人の支援を考えるセミナー ―就労継続からの生きがいづくり―	認知症介護研究・研修大府センター	東京都	1

内部研修					
No.	日付	研修名	講師	参加人数	
1	7/9	高知県高次脳機能障害研修会(応用編)	中島恵子先生	29	
2	7/26、27	視覚支援①②	高知市障害福祉課	32	
3	11/15	虐待防止を考える	松下睦先生	41	
4	12/20	触法研修 地域生活定着支援センターについて	山本紘敬先生	25	
5	2/14	ハラスメントについて考える	松下睦先生	35	
6	3/3	高次脳機能障害支援拠点職員研修会(中島教室Ⅱ)	中島恵子先生	33	

7	3/18	事例検討会	是永かな子先生	32
---	------	-------	---------	----

外部研修(一般)					
No.	日付	研修名	主催	開催地	参加人数
1	4/14	平成29年度 高知県福祉・介護職員合同入職式	高知県地域福祉部地域福祉政策課	高知県高知市	1
2	4/27	福祉車両安全運転講習会	一般社団法人日本福祉車輛協会	高知県高知市	1
3	5/31	福祉職場の職業人としての基本を学ぶ 新任職員研修-ステップ1-	高知県社会福祉協議会	高知県高知市	1
4	5/26	"みてわかる"支援と環境づくり講座	高知県立療育福祉センター	高知県高知市	1
5	7/26~7/28	自閉症支援のための実技講習会	高知県立療育福祉センター	高知県高知市	1
6	7/6	先輩職員研修~相談し、相談される人になる編~ H29年度高知県福祉研修センター主事研修	高知県福祉研修センター	高知県高知市	1
7	7/18~7/19	サービス管理責任者等研修(全体講義)	高知県障害保健福祉課	高知県高知市	1
8	7/3、7/11 7/18、11/6	平成29年度 高知県発達障害児等支援スキルアップ研修	高知県障害保健福祉課	高知県高知市	1
9	6/19、9/4 9/12、9/20	ケア基本研修	高知県社会福祉協議会	高知県高知市	2
10	8/18	相談援助技術研修	高知県福祉研修センター	高知県高知市	1
11	8/25	佐川町障害福祉サービス事業所説明会	佐川町健康福祉課	高知県佐川町	1
12	8/25	中堅職員ファーストステップ研修~中堅職員としての役割認識と責任感を身につける~	高知県社会福祉協議会	高知県高知市	1
13	9/4	平成29年度福祉サービス苦情解決セミナー	高知県社会福祉協議会	高知県高知市	1
14	11/14	新任職員研修-ステップ2- 入職後の実践を振り返り、専門職としての目標を考える	高知県社会福祉協議会	高知県高知市	1
15	10/2、10/5	就業支援実践研修 精神障害コース	高齢・障害・求職者雇用支援機構	高知県高知市	1
16	10/4	平成29年度 施設内感染対策研修会	高知市保健所	高知県高知市	2
17	10/3	平成29年度 高知県発達障害児等支援スキルアップ研修	高知県障害保健福祉課	高知県高知市	2
18	10/12	平成29年度 安全運転管理者講習	高知県公安委員会	高知県高知市	1
19	10/27 12/12、12/13	平成29年度 高知県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者研修	高知県社会福祉協議会	高知県高知市	1
20	10/27 12/19、12/20	平成29年度 高知県サービス管理責任者及び地域生活支援管理責任者研修	高知県社会福祉協議会	高知県高知市	1
21	10/2~10/3	平成29年度 指導的職員研修	高知県社会福祉協議会	高知県高知市	1
22	10/16	平成29年度 就労検討会	就労検討会事務局(高知市障がい福祉課)	高知県高知市	1
23	11/16	平成29年度 高知県障害者虐待防止・権利擁護研修	高知県社会福祉協議会/高知県権利擁護センター	高知県高知市	1
24	11/27	「合理的配慮とは?~こどもたちがノビノビ大人になれる環境づくり~」	高知県障害保健福祉課	高知県高知市	1
25	11/30	平成29年度 発達障害に関するセミナー	高知県立療育福祉センター	高知県高知市	1
26	10/12~10/14	平成29年度 高知県相談支援従事者現任研修	高知県障害保健福祉課	高知県高知市	2
27	12/1	自閉症支援者のための実技講習会実践報告とフォローアップ報告会	高知県立療育福祉センター	高知県高知市	1
28	12/12	平成29年度 食品等事業者研修会	高知市保健所	高知県高知市	1
29	2/8	平成29年度 災害時福祉支援活動推進セミナー	高知県社会福祉法人経営者協議会	高知県高知市	1
30	3/7	新任職員研修-ステップ3- 自分の仕事の階段を一つずつ登り、先輩職員になっていくために	高知県社会福祉法人経営者協議会	高知県高知市	1

外部研修(若年性)					
No.	日付	研修名	主催	開催地	参加人数
1	2/21	「若年性認知症になっても社会とつながって生きる」	社会福祉法人高知県社会福祉協議会	高知県高知市	1

No. _____ (受付 No. _____)

高次脳機能障害パスシート

— あなたと支援のかけはしに —



支援を受けるにあたって、私の相談を紹介元(_____)と共有し、 高次脳機能障害相談支援センターで保管・集約することに同意します。		
署 名 欄		
ふりがな 氏名	年齢 歳 (_____ 年 月 日生)	性別 男 ・ 女
住所	連絡先 (電話等)	

相談受付日： _____ 年 _____ 月 _____ 日()	
相談を受けた職員： _____ (連絡先： _____)	
概 要	他の支援機関…有・無 <input type="checkbox"/> 仕事(_____) <input type="checkbox"/> 経済(_____) <input type="checkbox"/> 介護(_____) <input type="checkbox"/> 障害・健康(_____) <input type="checkbox"/> 生活(_____) <input type="checkbox"/> 人権(_____) <input type="checkbox"/> 他(_____)
	【悩み・困りごと(主訴)】 ① _____ ② _____ ③ _____
	【相談結果・まとめ】 ① _____ ② _____ ③ _____
	利用状況： <input type="checkbox"/> 利用前 <input type="checkbox"/> 利用中 <input type="checkbox"/> 利用終了
相談先： <input type="checkbox"/> 高次脳機能障害相談支援センター(TEL088-842-1921/FAX088-842-2601) <input type="checkbox"/> 行政(県・市区町村： _____) <input type="checkbox"/> 障害者就業・生活支援センター(_____) <input type="checkbox"/> 医療(_____ 病院 _____ 科 主治医である…はい・いいえ) <input type="checkbox"/> その他(_____)	



高次脳機能障害相談支援センター(高知ハビリテーリングセンター)行	
来談予定： _____ 年 _____ 月 _____ 日()AM・PM : _____ : _____	同行 無・有(関係 _____)
相談担当： (SW・CP・他 _____ ・未定)	

高次脳機能障害相談支援センター 受取日： _____ 月 _____ 日

No. _____ (受付 No. _____)

高次脳機能障害相談支援センター 記入欄	
概要	<p>【悩み・困りごと(主訴)】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>
	<p>【相談結果・まとめ】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>継続相談： <input type="checkbox"/>無 ・ <input type="checkbox"/>有(週・月 回/不定期)</p> <p>つなぎ先： <input type="checkbox"/>特定相談支援事業所(_____ 連絡先： _____)</p> <p><input type="checkbox"/>行政(県・市区町村： _____)</p> <p><input type="checkbox"/>障害者就業・生活支援センター(_____)</p> <p><input type="checkbox"/>医療(_____ 病院 _____ 科 _____ 主治医である…はい・いいえ)</p> <p><input type="checkbox"/>その他(_____)</p> <p style="text-align: right;">相談日： _____ 月 _____ 日(_____)</p>



つなぎ先 _____ (担当職員： _____) 記入欄	
概要	<p>【悩み・困りごと(主訴)への解決方法、提案】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>
	<p>継続相談： <input type="checkbox"/>無 ・ <input type="checkbox"/>有(週・月 回/不定期)</p> <p>特記事項： _____</p> <p style="text-align: right;">例：担当者会の有無など</p> <p>悩み・困りごと(主訴)が解決しましたか？ _____ はい・いいえ</p> <p>さらに連携・つなぎ先が必要ですか？ _____ はい・いいえ</p>
<p><input type="checkbox"/>高次脳機能障害相談支援センター(TEL088-842-1921/FAX088-842-2601)へ連絡</p>	

高次脳機能障害相談支援センター 受取日： _____ 月 _____ 日

平成 29 年度イベント食

<春の七草粥>



<節分>



<ひなまつり>



<はるのお食事会>



<まぐろの山かけ丼>



<こいのぼりケーキ (キュール) >



<ハンバーガー>



<味噌カツ丼>



<セタカレー>



<文月祭：バイキング>



<文月祭：フルーツ盛り合わせ>



<山形名物から味噌ラーメン>



<オムソバ>



<鶏唐揚げトマトソース薬味丼>



<『和食の日』エビ天そば>



<ばくだん丼 (生イカ、いくら、温泉卵) >



<クリスマスバイキング>



<オムカレー>



⑱<お楽しみお食事会>



参照資料③

平成29年度ソウェルクラブ利用状況

ハビリ	月	事業	内容			金額
平成29年度	4月		対象者52名			
		センター事業 その他	情報誌『SowelClub』春号 配布	52名	現物支給	○
	5月	センター事業 永年勤続記念品贈呈	永年勤続記念品	3名	現物支給 5,000円程度×3	¥15,000
		センター事業 お祝品贈呈	入学お祝い品	5名	商品券 5,000円×5	¥25,000
		センター事業 資格取得記念品贈呈	資格取得記念品	2名	現物支給 5,000円程度×2	¥10,000
		センター事業 お祝品贈呈	出産お祝い品	1名	商品券 10,000円×1	¥10,000
	6月	高知県事務局 会員交流事業	家庭常備菜等の斡旋		希望小売価格からの差額	¥1,290
		センター事業 健康生活用品給付	健康生活用品	52名	現物支給 3,000円程度×52	¥156,000
	7月	高知県事務局 会員交流事業	ビアガーデン	9名	一般価格からの差額	¥16,200
		センター事業 その他	情報誌『SowelClub』夏号 配布	52名	現物支給	○
	10月	センター事業 その他	情報誌『SowelClub』秋号 配布	52名	現物支給	○
		センター事業 その他	オリジナル手帳申請	52名	現物支給	○
	11月	高知県事務局 会員交流事業	家庭常備菜等の斡旋		希望小売価格からの差額	¥6,886
		高知県事務局 会員交流事業	アウトレット買い物ツアー	2名	一般価格からの差額	¥14,000
	12月	高知県事務局 会員交流事業	映画チケット斡旋	59枚分	通常料金からの差額	¥59,000
	1月	センター事業 その他	情報誌『SowelClub』冬号 配布	52名	現物支給	○
	2月	センター事業 お祝品贈呈	結婚お祝い品	2名	商品券 10,000円×2	¥20,000
	3月	センター事業 資格取得記念品贈呈	資格取得記念品	2名	現物支給 5,000円程度×2	¥10,000
		センター事業 お祝品贈呈	出産お祝い品	1名	商品券 10,000円×1	¥10,000
		センター事業 生活習慣病予防健診費用助成	生活習慣病予防健診助成金	43名		¥142,910
通年	センター事業 その他	ウイズカウネット10%割引			○	

合計 ¥496,286 + ○

掛金 ¥520,000

差額 ¥-23,714 + ○

センター事業 健康生活用品給付	156,000
センター事業 お祝品贈呈	65,000
センター事業 資格取得記念品贈呈	20,000
センター事業 永年勤続記念品贈呈	15,000
センター事業 生活習慣病予防健診費用助成	142,910
センター事業 その他	0 + ○
高知県事務局 会員交流事業	97,376
合計	496,286 + ○